

準備しよう! Prius

HITACHI
Inspire the Next

パソコンを使えるようにしよう

1

いろいろな使い方をするために

2

再セットアップ

3

技術情報

4

Prius Note

1

マニュアルはよく読み、保管してください。

- 製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
- このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

はじめに

マニュアルを確かめよう

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

次の内容と各マニュアルの内容をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

マニュアルの構成について

このパソコンには、使い始める準備から使いこなすまでの手引き、マニュアルが付いています。マニュアルには、本書のような紙マニュアルと、画面で見る電子マニュアルがあります。どちらにも役に立つ便利な情報が書かれています。大いに活用して快適なパソコンライフをお楽しみください。

紙マニュアル

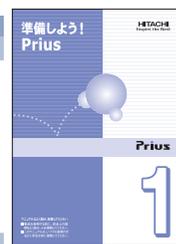
はじめにお読みください

- 『必ずお読みください』



パソコンを使えるようにしよう！

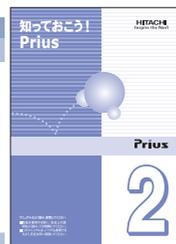
- 『準備しよう！ Prius』



さっそく使ってみよう！

- 『知っておこう！ Prius』

同じ内容が
電子マニュアルにもあります



動画機能を使ってみよう！

- 『プリウスナビを楽しもう！』

テレビ機能付きモデルにのみ、
紙マニュアルが添付されています。



電子マニュアル

マニュアルの情報は電子マニュアルにあり、必要な情報を画面ですばやく探すことができます。



パソコンとソフトの概要を知るなら



アプリケーションを楽しむなら



はじめてパソコンに触るなら



テレビを見たり DVD を楽しむなら



インターネット・メールを始めるなら



もっとパソコンを使うなら・困ってしまったら



電子マニュアルを開こう

電子マニュアルは、このパソコンのマニュアルを画面で読めるようにしたものです。電子マニュアルを開いてみましょう。

詳しい電子マニュアルの使い方は、『マニュアルスタートガイド』をご参照ください。



画面上(デスクトップ)のアイコンをダブルクリックして



電子マニュアル

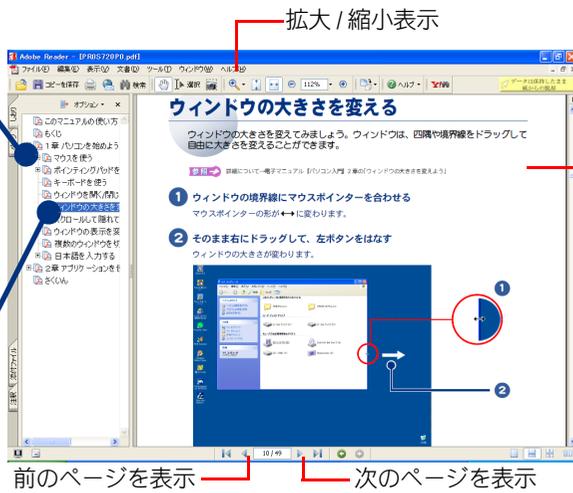


① を電子マニュアル名の上に重ねる

② クリックする

電子マニュアル 活用百科

3 **+**をクリックして**-**にして、下の項目を表示する



4  で項目を選びクリックし、電子マニュアルを読む

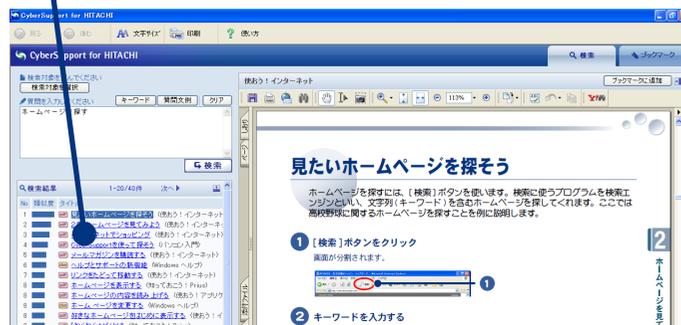
電子マニュアルの内容を検索するには

1 デスクトップの  をダブルクリックする

2 知りたい内容を入力し、検索をクリック



3 読みたい項目をクリック



お使いになる前に

マニュアルの表記について

 重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
 ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイス、パソコンの用語を解説します。
 参照 →	参照先を示します。
CD/DVD ドライブ	DVD スーパーマルチドライブなどの光学式ディスクドライブを表記します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。
Windows XP、Windows	Microsoft® Windows® XP Home Edition を表記します。
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition を表記します。
Home Style+	Microsoft® Office Home Style+ を表記します。
テレビ機能付きモデル	地上デジタルチューナーユニットが同梱されている機種を表記します。

- ・ マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
- ・ URL、お問い合わせ先、画面などは、マニュアル制作時点のものです。

保証書について

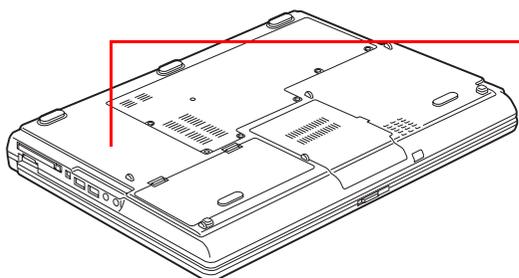
- ・ 保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
- ・ 保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・ 保証期間終了後の修理については、Prius 集中修理センターにご相談ください。詳しくは、紙マニュアル『必ずお読みください』2章の「パソコンのサポートについて」をご参照ください。

重要なお知らせ

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- ・ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・ 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

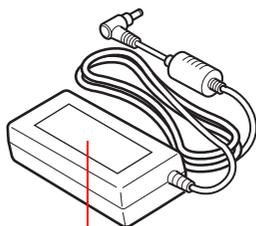
警告ラベル

パソコン



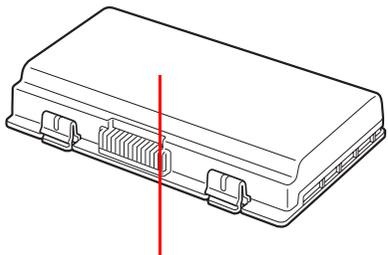
<p>警告</p> <p>感電、火災の原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">・絶対に分解しないでください。・ACアダプタには指定されたものをご使用ください。	<p>注意</p> <p>高温火傷の恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">・状態悪化を直接部に付けた状態で使用しないでください。
---	---

ACアダプター



<p>CAUTION</p> <p>To prevent fire or electric shock.</p> <ul style="list-style-type: none">• Dry location use only.• Use for specified equipment only.	<p>注意</p> <p>感電、火災の原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">・湿った場所では使用しないでください。・指定の機器以外には使用しないでください。
--	---

バッテリーパック



<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none">・端子をショートさせないでください。・水や火の中に投入したり、加熱したりしないでください。・分解、改造、落下したり、衝撃を与えたりしないでください。・高温場所(60°C以上)で放置しないでください。・指定の充電器以外のものを使用しないでください。・もしも、バッテリー電解液がもれ、体に付着した場合は大量の水で洗い流してください。
--

もくじ

はじめに

マニュアルを確かめよう	
マニュアルの構成について	
電子マニュアルを開こう	2
お使いになる前に	4
マニュアルの表記について	4
保証書について	4
重要なお知らせ	4
警告ラベル	5
もくじ	6

1章 パソコンを使えるようにしよう

同梱品を確かめよう	10
同梱品チェックリストで確認しよう	10
保証書を確認しよう	10
接続しよう	11
置き場所や姿勢について	11
接続しよう	12
リモコンに電池を入れよう(テレビ機能付きモデルのみ)	14
電源を入れよう	15
電源を入れよう	15
使用許諾契約に同意しよう	17
電源を切ろう	22
もう一度、電源を入れよう	23

2章 いろいろな使い方をするために

マウスを使いたい方は	26
------------	----

コンセントのない場所でパソコンを使いたい方は.....	27
バッテリーパックの取り付け方.....	27
バッテリーパックの充電のしかた.....	27
バッテリーパックの取り外し方.....	28
インターネットを始めたい方は.....	30
モデムを使うには.....	30
テレビを見たい方は.....	31
ほかの周辺機器を使うときは.....	32
各部の名前を知っておこう.....	33
パソコン正面・左側面.....	33
パソコン背面・右側面.....	34
インジケータランプの見方.....	34
ワンタッチキーの機能.....	36
キーボード.....	37
CD/DVD ドライブのディスクの入れ方／取り出し方.....	39
ディスクの強制取り出し.....	40
FD の入れ方／取り出し方.....	41

3章 再セットアップ

再セットアップについて.....	44
作業の流れ.....	44
1 準備する.....	44
2 一括インストールを行う.....	47
3 アプリケーションをインストールする.....	53
4 電子マニュアルをインストールする.....	57

4章 技術情報

アプリケーション一覧.....	60
パソコン仕様一覧.....	63
ドライブの仕様.....	66
DVD スーパーマルチドライブ(DVD ± R 2 層書き込み対応)の仕様.....	66



メモリーボードの仕様	68
バッテリーパックの仕様	69
有寿命部品一覧	70
オプション情報	71
さくいん	73



1

1 章 パソコンを使えるようにしよう

この章では、パソコンを使えるようにするための準備について説明します。

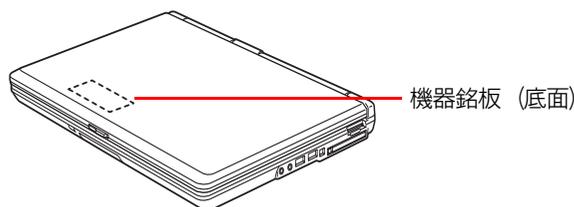
- >> ・ 同梱品を確かめよう (P.10)
- >> ・ 接続しよう (P.11)
- >> ・ 電源を入れよう (P.15)
- >> ・ もう一度、電源を入れよう (P.23)

同梱品を確かめよう

箱を開けたら、まず箱の中に入っている同梱品がすべてそろっていることを『同梱品チェックリスト』で確認しましょう。万一不足があるときは、安心コールセンターにお問い合わせください。

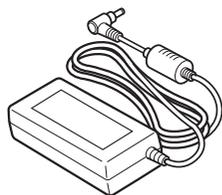
同梱品チェックリストで確認しよう

★パソコン

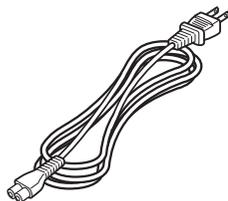


- ※ヒント** ● パソコンの形名を確認するには
パソコンの底面にある機器銘板に、形名や製造番号が記載されています。
機器銘板のはり付け位置は、変更される場合があります。ご了承ください。

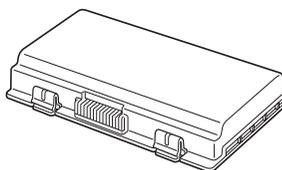
★ AC アダプター



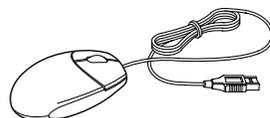
★電源コード



★バッテリーパック



★マウス



- ▲重要** ● テレビ機能付きモデルには、別途、地上デジタルチューナーユニット、USB ケーブル、B-CAS カード、リモコン、単3形アルカリ乾電池(2個、リモコン用)などが同梱されています。

保証書を確認しよう

保証書

保証書は、パソコンの箱にはり付けてあります。大切に保管してください。パソコンの製造番号と保証書の番号が、同じであることをご確認ください。万一違う場合は、すぐに安心コールセンターにお問い合わせください。

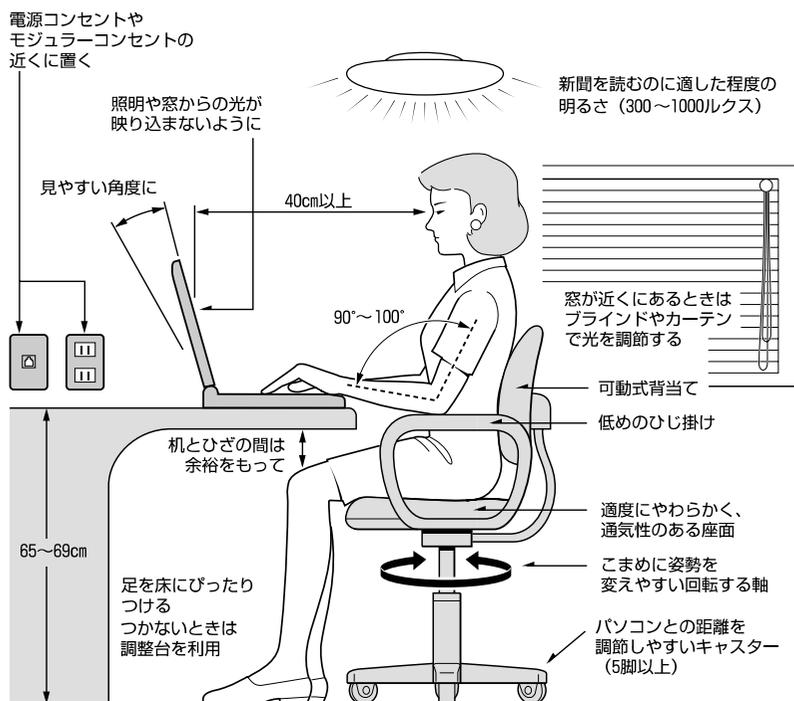
接続しよう

パソコンの置き場所を決めてから、ACアダプターとバッテリーパックを接続しましょう。

- ※ヒント** ● ACアダプター
コンセントの交流電源を直流電源に変換してパソコンに供給します。

置き場所や姿勢について

パソコンを使う場所によっては、パソコンに思わぬトラブルを起こす可能性があります。パソコンを正しく使うために、パソコンを使うときに適した場所と姿勢について知っておきましょう。



参照：日本人間工学会 ノートパソコン利用の人間工学ガイドライン (1998年 労働科学研究所発行)

- ・ パソコンのディスプレイは、体の正面に設置し、見やすい角度に調節する。
- ・ ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明を適度に調節し、ディスプレイの反射を抑える。
- ・ 明るさやコントラストなど見やすいように調節する。
- ・ キーボードやマウス、ポインティングパッドを使うときは、手首とひじは水平になるような位置を保つ。
- ・ パソコンの作業時間は、1日に最大6時間を目安とし、1時間ごとに10～15分の休息をとる。
- ・ キーボードは本などで使いやすい角度に調節する。
- ・ 周辺機器を接続しても余裕のある、十分な作業空間を確保する。
- ・ 不自然な姿勢を避け、ときどき姿勢を変える。

警告

- ・湿気やほこりの多い場所での使用について
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。本体内部にほこりが溜まることによって、精密部品の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。
- ・ほこりの除去について
パソコンの周囲は、ほこりを吸わないように、こまめに清掃してください。パソコンの冷却用ファンユニットが目詰まりをおこし、過熱、発煙や故障の原因となります。
- ・通気孔について
本体底面がふさがりやすい布、じゅうたんなどの上には置かないでください。また、本体側面にものを置いたり、立てかけたりしないでください。本体内部への通気が損なわれ、発煙、発火ややけどの原因になります。

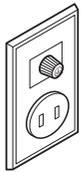
注意

- ・不安定な場所での使用について
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

接続しよう

コンセントの位置を確認しよう

次のコンセント類が、パソコンを設置する場所にあるか、ご確認ください。コンセント類とパソコンを接続するケーブルが届く位置にパソコンの位置を決めてください。

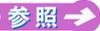


電源コンセント 1 個

プリンターなど周辺機器を接続する場合は、さらにその個数分必要です。

アース端子 1 個 (テレビ機能付きモデルのみ)

地上デジタルチューナーユニットの FG 端子とアース端子をアース線で接続するときに必要です。



参照 → アース端子の接続方法 → 紙マニュアル【地上デジタルチューナーユニット取扱説明書】

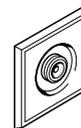


モジュラーコンセント 1 個

モデムを使ってインターネットに接続するときに必要です。



参照 → モジュラーケーブルの接続方法 → 「モデムを使うには」 (P.30)



アンテナ端子 1 個 (テレビ機能付きモデルのみ)

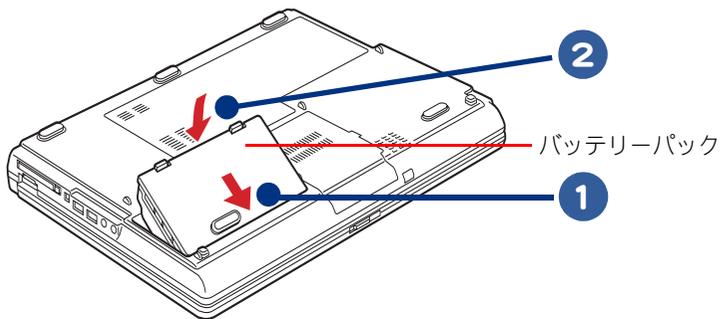
テレビを見るときに必要です。



参照 → テレビアンテナへの接続方法 → 紙マニュアル【地上デジタルチューナーユニット取扱説明書】

1 パソコンを裏返し、バッテリーパックのツメの部分差し込む

2 バッテリーパックを「カチッ」と音がするまで差し込む

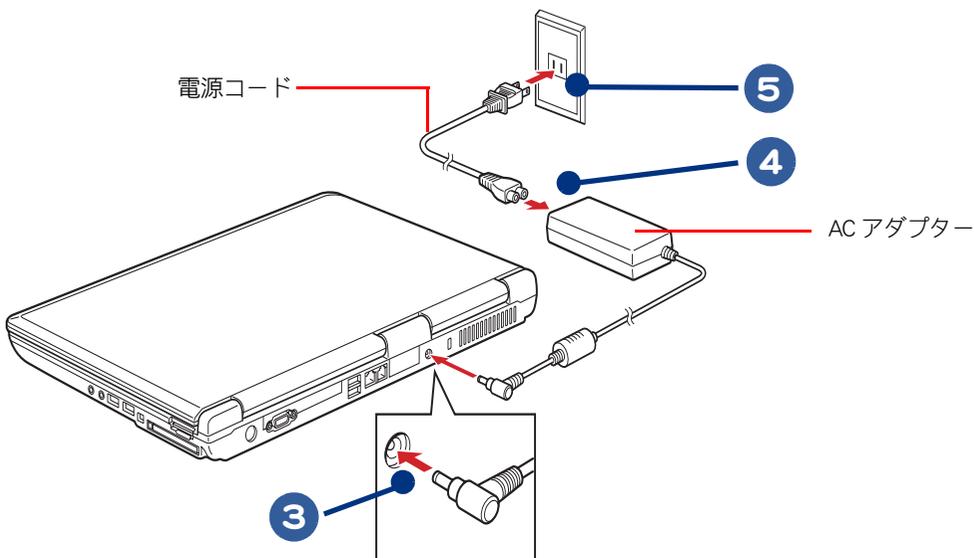


- 重要**
- バッテリーパックを取り付けないと、パソコンの設置が不安定になります。ご使用の際には、必ずバッテリーパックを取り付けてください。
 - バッテリーパックを取り付ける際は、「カチッ」と音がするまで、矢印方向にバッテリーパックを押し込んでください。完全に取り付けていないと、持ち運び時にバッテリーパックが外れる可能性があります。

3 ACアダプターを、パソコンの電源コネクターに差し込む

4 電源コードを、ACアダプターに差し込む

5 電源コードのプラグを、コンセントに差し込む



警告

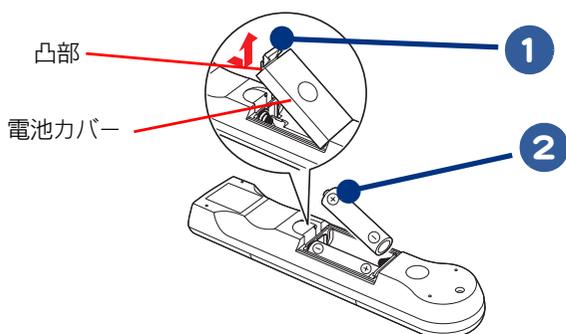
- ・ 付属品の使用について
ACアダプター、バッテリーパックは同梱のものを使用してください。同梱のもの以外を使用すると、電圧、最大出力電流、および極性が異なることがあるため、火災の原因になります。
- ・ タコ足配線
同じコンセントに多数の機器を接続しないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。また、電力の使用量がオーバーとなり、ブレーカーが落ちてほかの機器にも影響を及ぼします。

リモコンに電池を入れよう（テレビ機能付きモデルのみ）

同梱のリモコンに電池を入れましょう。

1 電池カバーの凸部を、指で押さえながら矢印方向に開ける

2 プラス（+）、マイナス（-）を確認して、単3形のアルカリ乾電池を2本入れる



3 電池カバーを閉める

⚠ 警告

- 電池は次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因となります。
- 電池の+、-を正しく入れる。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 電池の+、一部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない。
- 電池を金属製のピンセットなどでつかまない。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないで電池を保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。
- 電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、気道を確保しながら直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り外してください。取り外さないと、液漏れによりやけどをしたり、リモコンが故障するおそれがあります。

📌 重要

- リモコン送信部と受信部の位置により、操作範囲が変わります。正面の場合は5m以内、左右15°ずれる場合は3m以内です。ただし、直射日光があたるなど、周囲環境によっては、操作範囲は環境により変わります。
- アルカリ乾電池またはマンガン乾電池を使用してください。ニッカド電池などは使用しないでください。故障するおそれがあります。
- 電池を交換するときは、2本とも新しい電池と交換してください。古い電池と新しい電池をあわせて使用しないでください。
- リモコンの電池寿命は、通常約2年（アルカリ乾電池使用時）です。なお、使用頻度が高い場合、電池寿命は短くなります。
- 同梱品の乾電池は動作確認用です。電池寿命は保証できません。

🌟 ヒント

- 動作可能領域でもリモコンをうまく操作できない場合、電池残量がわずかになっている可能性があります。乾電池を交換してみてください。

👉 参照

- リモコンの使い方について→紙マニュアル『プリウスナビを楽しもう!』

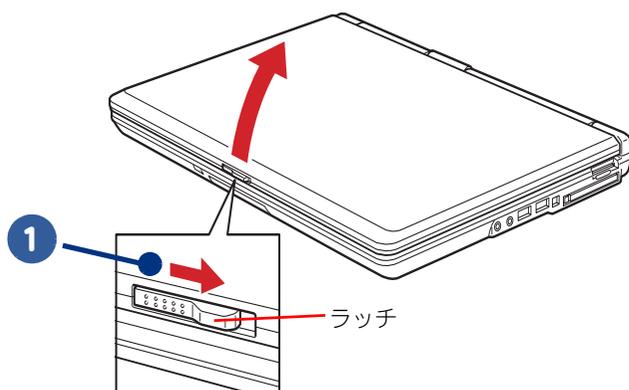
電源を入れよう

ここまででパソコンの電源を入れる準備ができました。
次に、電源を入れて Windows を使えるようにするまでの操作を説明します。

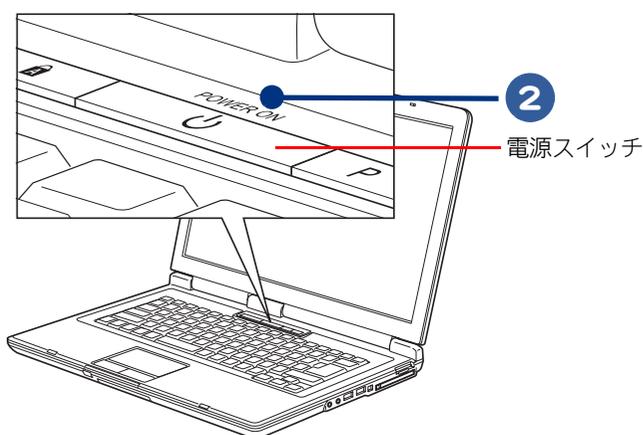
※ヒント ● Windows を使えるようにするまでの操作を Windows のセットアップといいます。

電源を入れよう

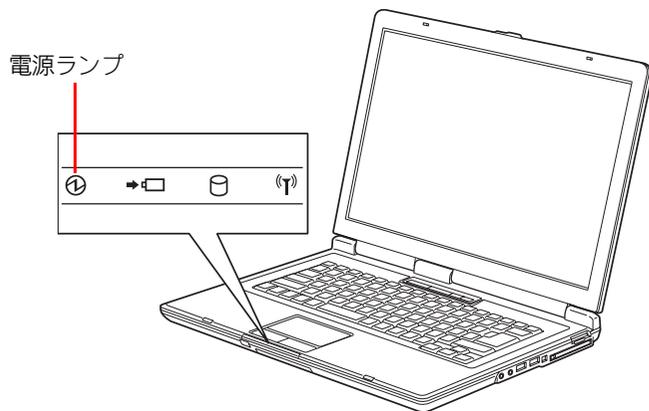
- 1 ラッチを矢印の方向にスライドして、液晶ディスプレイを開く



- 2 電源スイッチを押す



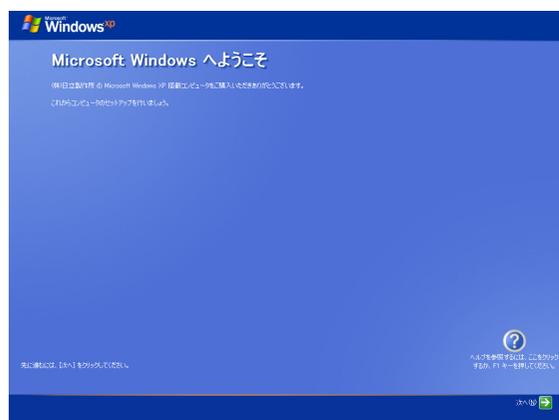
3 電源ランプが点灯したことを確認する



参照 → 電源ランプについて → 「インジケータランプの使い方」(P.34)

4 次の画面が表示されるまで待つ

[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。



重要 ● 電源スイッチを操作してからこの画面が表示されるまで、液晶ディスプレイを閉じないでください。

使用許諾契約に同意しよう

はじめてパソコンの電源を入れるときは、Windows の使用許諾契約に同意して、Windows を使えるようにする必要があります。この操作は、はじめて電源を入れるときだけに必要です。次に電源を入れるときは必要ありません。

※ヒント ● 使用許諾契約
ここでは、あらかじめパソコンに入っている Windows を使うための契約のこと。

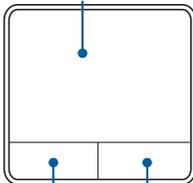
1 ポインティングパッドの上で指をすべらせ、画面上に表示されている  を移動させて [次へ]  に重ねる

2 左のクリックボタンを 1 回押す



※ヒント ● 画面に表示されている  を、「マウスポインター」と呼びます。
● ここでは、パソコンのこの場所を使って操作します。

ポインティングパッド



クリックボタン

3 [使用許諾契約] 画面で、 を移動させて  に重ね、クリック

 にチェックが付きます。

4 マウスを移動させて[次へ]➡に重ね、クリック



※ヒント ● 操作を間違えたときは、[戻る]◀にマウスを重ね、クリックします。一つ手前の画面に戻ります。

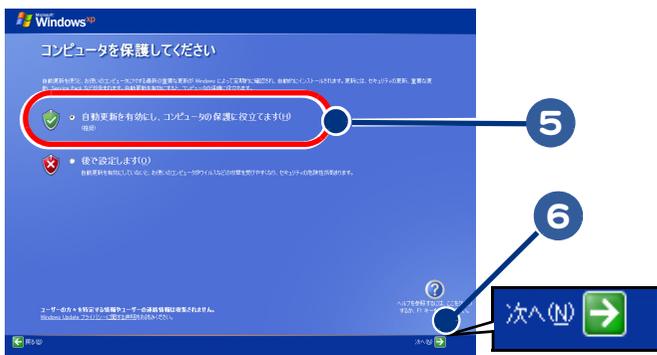
重要 ● 使用許諾契約は必ずお読みください。

5 [コンピュータを保護してください]画面で、マウスを移動させて

自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立ちます(H)
(推奨)

[自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立ちます]にチェックが付きます。

6 マウスを移動させて[次へ]➡に重ね、クリック

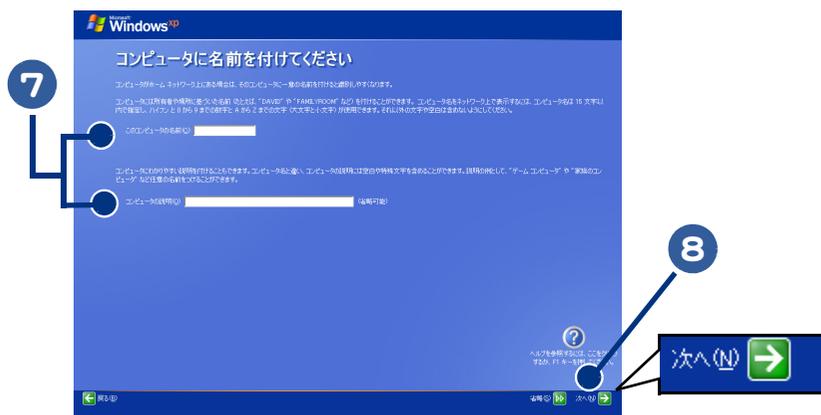


7 [コンピュータに名前を付けてください]画面で、[このコンピュータの名前]を入力し、必要に応じて[コンピュータの説明](省略可能)を入力する

これらの入力内容はあとで変更できるので、[このコンピュータの名前]はペットに名前を付けるようなつもりで入力します。[コンピュータの説明]は何も入力しないで次へ進みます。

日本語を入力するには	日本語を入力する方法は2つあります。使いやすい方法を選んで入力してください。
ローマ字入力	キーの左上のアルファベットを使って、ローマ字読みでひらがなを入力します。 HITACHIと入力すると自動的に「ひたち」となります。
かな入力	かな入力したい場合は、キーボードの ALT キーを押しながら かな キーを押すとかな入力ができます。 キー右下、または右上のひらがなを使って入力します。 ひたちと入力すると「ひたち」となります。
漢字変換	入力したひらがなを漢字に変換するには、キーボードの SPACE (スペース) キーを押します。違う漢字が表示されたときは、もう一度 SPACE (スペース) キーを押して、漢字の候補一覧の中から該当する漢字を選びます。 「ひたち」- SPACE → 常陸 - SPACE → 日立 選んだ漢字を確定するには、 ENTER キーを押します。 ひらがなのままでよいときは、 SPACE (スペース) キーを押さずに、そのまま ENTER キーを押して確定します。

8 を移動させて[次へ]に重ね、クリック

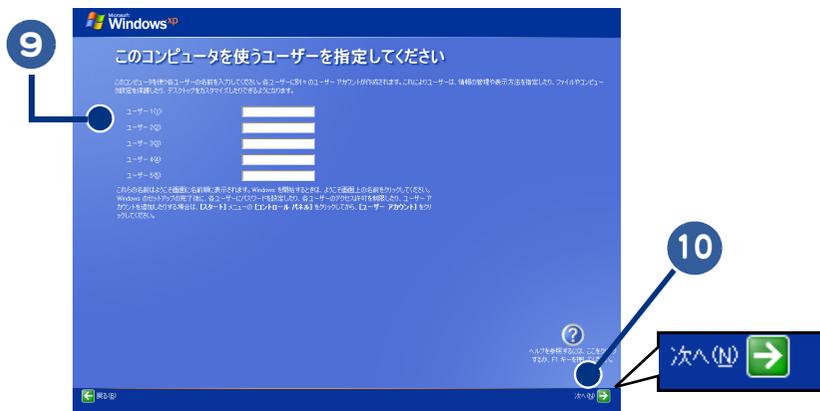


- ※ヒント**
- 入力できる文字には制限があります。画面の指示に従ってください。
 - [このコンピュータの名前]と[コンピュータの説明]はあとで変更できます。変更の方法については電子マニュアル『パソコン入門』4章の「ユーザー名などを変えよう」をご参照ください。

9 [このコンピューターを使うユーザーを指定してください]画面で、[ユーザー 1]を入力する

入力内容はあとで変更できるので、[ユーザー 1]は自分にニックネームを付けるつもりで入力します。

10 マウスを移動させて[次へ]➡に重ね、クリック



- ※ヒント**
- [ユーザー 1]に入力した名前は、あとで変更できます。変更の方法については電子マニュアル『パソコン入門』4章の「ユーザー名などを換えよう」をご参照ください。
 - キーボードの入力操作に慣れていない方は電子マニュアル『パソコン入門』の「5章 日本語を入力しよう」をご参照ください。

11 [設定が完了しました]画面で、マウスを移動させて[完了]➡に重ね、クリック

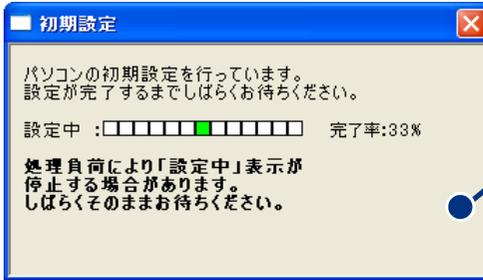


2回目以降は、電源を入れるとWindowsのデスクトップ画面が表示されます。[使用許諾契約]画面や[コンピュータに名前を付けてください]画面などは表示されません。



12 デスクトップ画面が表示され、モデルによっては[初期設定]画面が表示される。 パソコンを立ち上げ直すメッセージが表示されたら、[再起動]ボタンをクリック

はじめてパソコンの電源を入れ、使用許諾契約に同意したあとにパソコンの初期設定などが自動的にはじまります。初期設定が完了するまでには数分から十数分かかる場合があります。画面の指示に従い、初期設定が完了するまでは、パソコンの電源を切らないでください。



電源を切ろう

Windows の使用許諾契約などが終わったら、いったん電源を切ります。電源を切る操作はとても大切です。次に説明する方法で、電源を切ってください。

1 スタート にマウスを重ね、クリック

スタートメニューが表示されます。

2 終了オプション(U) にマウスを重ね、クリック



3 [コンピュータの電源を切る]画面で、 にマウスを重ね、クリック

画面が暗くなり、しばらくすると電源が切れ、パソコンの電源ランプが消灯します。



※ ヒント ● 電源スイッチを 4 秒未満押ししても、手順 1～3 の操作と同じように電源が正しく切れます。

▲ 重要 ● 電源スイッチは、4 秒以上押し続けしないでください。Windows が強制終了されます。この場合、異常終了とみなされ、次回立ち上げ時にチェックプログラムが働くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がります。
● 一度電源を切り、再度電源を入れるときは、20 秒以上の間隔をあけてください。

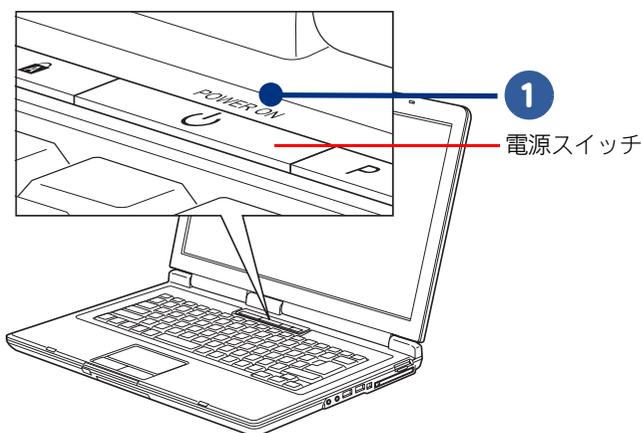
もう一度、電源を入れよう

もう一度電源を入れて、デスクトップ画面が表示されることを確認します。

重要 ● パソコンの立ち上げ時にキーボードを連打したり、押し続けしないでください。エラーメッセージが表示される場合があります。

1 電源スイッチを押す

しばらくして、デスクトップ画面が表示されます。







2

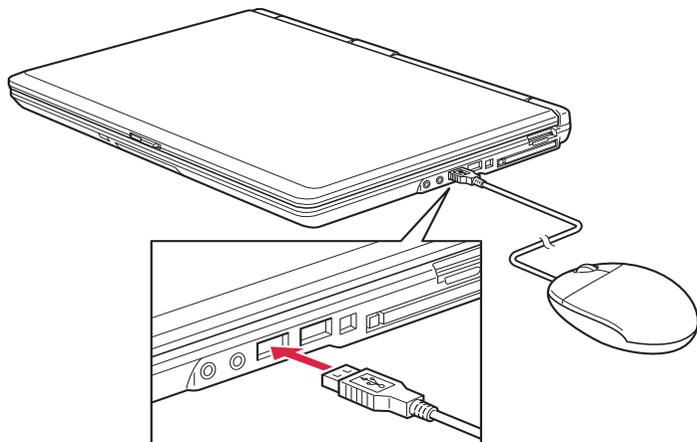
2章 いろいろな使い方をするために

ここでは、バッテリーパックの使い方やインターネットをするための準備など、パソコンのいろいろな使い方やパソコン各部の名前や働きについて説明します。

- ≫ ・マウスを使いたい方は (P.26)
- ≫ ・コンセントのない場所でパソコンを使いたい方は (P.27)
- ≫ ・インターネットを始めたい方は (P.30)
- ≫ ・テレビを見たい方は (P.31)
- ≫ ・ほかの周辺機器を使うときは (P.32)
- ≫ ・各部の名前を知っておこう (P.33)

マウスを使いたい方は

パソコンの背面、または右側面の USB コネクタ-のどれかに接続してください。マウスを接続しない場合は、ポインティングパッドで Windows を操作します。



※ヒント ● USB コネクタ-は、4 つあります。いずれに接続しても動作は同じです。

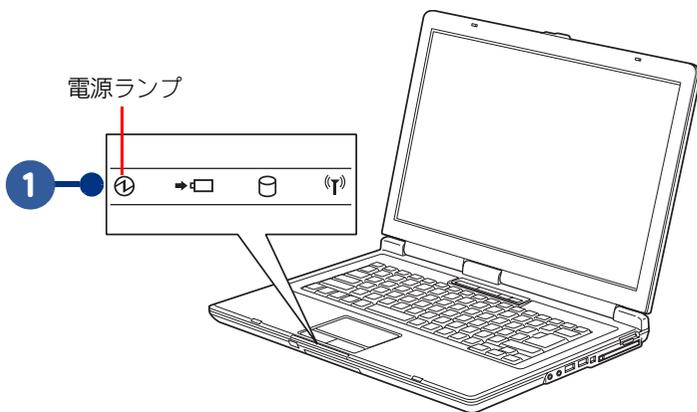
参照 → USB コネクタ-の位置 → 「パソコン背面・右側面」(P.34)

コンセントのない場所でパソコンを使いたい方は

パソコンに充電したバッテリーパックを取り付けると、コンセントがない場所でもパソコンを使うことができます。また、充電したバッテリーパックを取り付けておけば、停電したときにパソコンの電源が切れることなく対応することができます。

バッテリーパックの取り付け方

1 電源ランプが消えていることを確認する



重要 ● 電源ランプが点灯しているときはパソコンの電源が入っています。必ずパソコンの電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してからバッテリーパックを取り付けてください。

ヒント ● 電源ランプは液晶ディスプレイを閉めた状態でも確認できます。

2 液晶ディスプレイを閉じる

3 バッテリーパックをパソコンに取り付ける

参照 → バッテリーパックの取り付けについて → 「接続しよう」(P.12)

バッテリーパックの充電のしかた

1 ACアダプターを接続する

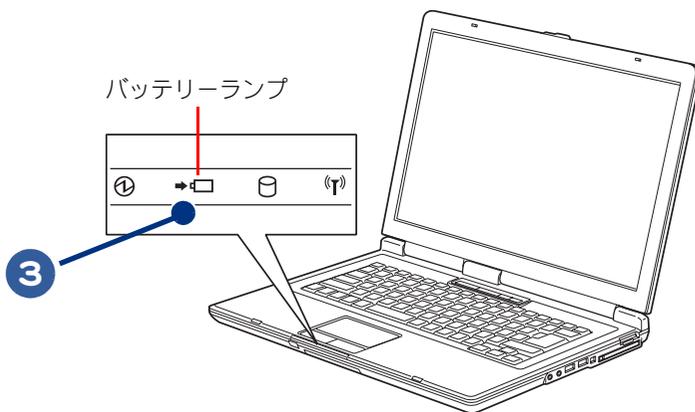
警告 ・バッテリーパックは、必ず本パソコンに取り付けて充電してください。ほかの方法では、電圧、充電時間などが異なる場合があります。破裂・発火などの原因になることがあります。

参照 → ACアダプターの接続について → 「接続しよう」(P.12)

2 液晶ディスプレイを開ける

3 バッテリーランプが点灯していることを確認する

充電が始まります。
バッテリーランプが消えたらバッテリーパックの充電は完了です。

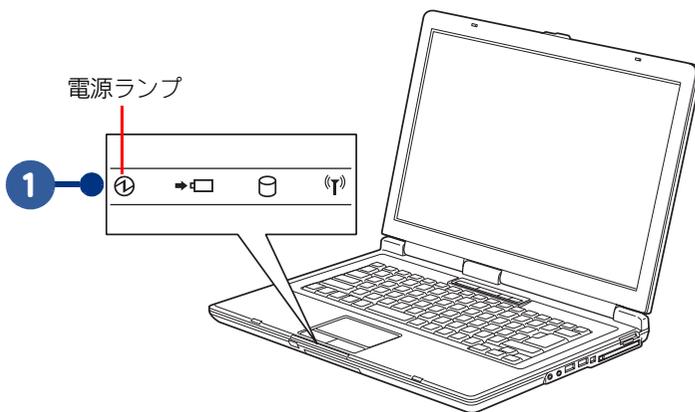


※ヒント ● バッテリーランプは液晶ディスプレイを閉めた状態でも確認できます。

参照 → 詳しくは→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーの使い方」

バッテリーパックの取り外し方

1 電源ランプが消えていることを確認する

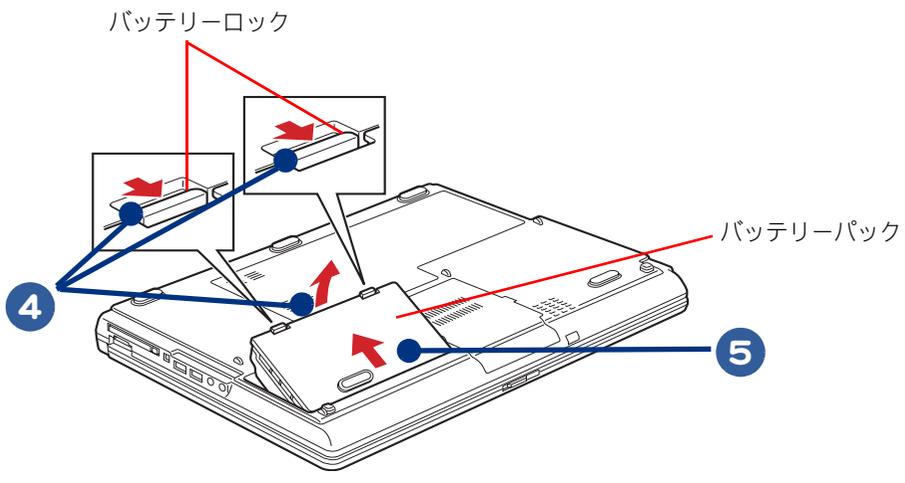


重要 ● 電源ランプが点灯しているときはパソコンの電源が入っています。必ずパソコンの電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、電源ランプが消えていることを確認してからバッテリーパックを取り外してください。

※ヒント ● 電源ランプは液晶ディスプレイを閉めた状態でも確認できます。



- ② 液晶ディスプレイを閉じる
- ③ パソコンを裏返す
- ④ バッテリーロック (2箇所) を指先で押しながら、持ち上げる
- ⑤ バッテリーパックのツメの部分を取り外す



2
いろいろな使い方をするために

インターネットを始めたい方は

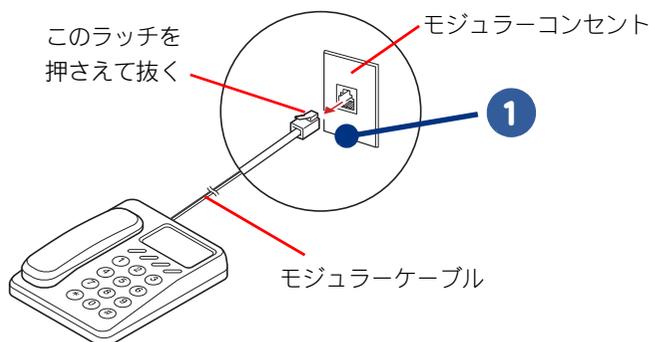
ここでは、モデムを使ってインターネットを始める方法を例に説明します。モデム以外の方法でインターネットを始める方は、電子マニュアル『使おう！インターネット』をご参照ください。

モデムを使うには

モデムを使ってインターネットを始めるためには、次のようにモジュラーケーブルを接続してください。

警告 ・雷が鳴っているときは、パソコンの使用、アンテナ線の接続及び電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

1 お使いの電話機につながっているモジュラーケーブルを、モジュラーコンセントから抜く

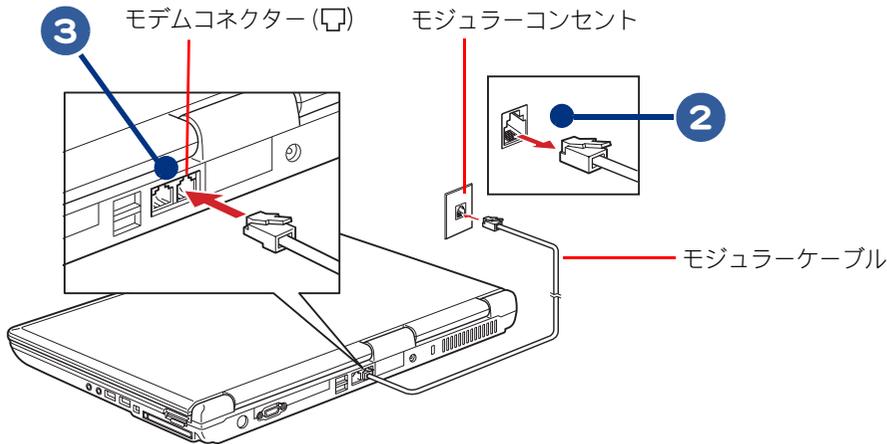


- 重要**
- モジュラーケーブルには脱落防止のラッチが付いています。モジュラーケーブルを取り外すときは、ラッチを押さえながらモジュラーコンセントから引き抜いてください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、モジュラーケーブルが断線したり、モジュラーコンセントを破損するなどのおそれがあります。
 - 各ケーブルの購入について→パソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。

2 モジュラーケーブルの片側を、モジュラーコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込む

3 モジュラーケーブルの反対側を、パソコンのモデムコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込む

LAN コネクタに接続しないように、必ずマーク (□) を確認して接続してください。



注意

・モジュラーケーブルの接続について

モジュラーケーブルは、2線式をご使用ください。故障の原因になります。2線式以外のケーブルの使用により発生した不具合については保証いたしません。

※ヒント

- 接続する前に、お使いになっている電話機の種類をご確認ください。お使いになっている電話機がホームテレフォンやビジネスフォン(内線)の場合、接続しても正常にインターネットをすることができません。この場合は、NTTにご相談ください。
- モジュラーコンセントの形状がイラストと異なる場合は、モジュラーコンセントを変更する必要があります。詳しくは、NTTにご相談ください。
- モジュラーコンセントにモジュラーケーブルとパソコンを接続しているときは、電話機を使うことができません。電話機を使うときは、モジュラーコンセントからモジュラーケーブルとパソコンを取り外し、電話機を取り付ける必要があります。

インターネットを始めるためには、ほかにも必要な手続きが残っています。インターネットの始め方については、電子マニュアル『使おう！インターネット』をご参照ください。

テレビを見たい方は

テレビ機能付きモデルの場合、このパソコンでテレビを見るには、アンテナ線、地上デジタルチューナーユニットとパソコンを接続します。

詳しくは、紙マニュアル『地上デジタルチューナーユニット取扱説明書』と『プリウスナビを楽しもう!』をご参照ください。

ほかの周辺機器を使うときは

周辺機器の接続は、電子マニュアル『パソコン応用』3章の「パソコンを拡張する」をご参照ください。次のような接続や取り付けなどが行えます。必要に応じて、あらかじめ印刷してください。

電子マニュアルは、デスクトップ画面の[電子マニュアル]アイコンをダブルクリックします。

設定などの詳しい説明は、周辺機器のマニュアルをご参照ください。

- ・ プリンターを接続する
- ・ USB 機器を接続する
- ・ IEEE1394 機器を接続する
- ・ LAN を接続する
- ・ PC カードを使う
- ・ メモリーカードを使う
- ・ ディスプレイを接続する
- ・ ヘッドホン、マイクを接続する
- ・ メモリーボードを取り付ける
- ・ その他の周辺機器を接続する

重要 ● 周辺機器を接続する前に、Windows のセットアップを完了してください。周辺機器を接続してから Windows のセットアップを行うと、正しくセットアップできない場合があります。

参照 → Windows のセットアップについて → 「使用許諾契約に同意しよう」(P.17)

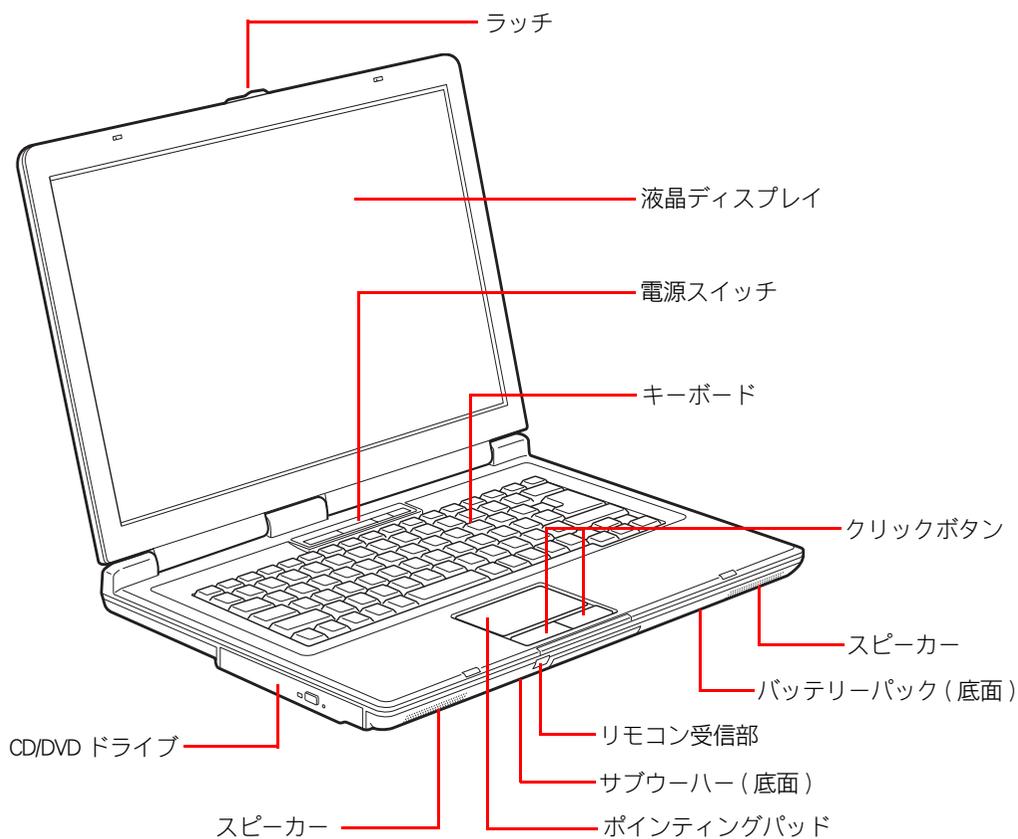
- 接続するときは、パソコンと周辺機器の電源をあらかじめ切ってください。

ヒント ● 次のプリンタードライバーはプレインストールされています。プリンターを接続すれば、使用できます。一括インストールしたときには、これらのドライバーはインストールされません。プリンターに付属のドライバーをインストールしてください。

- ・ EPSON (PM-A750、PM-A890、PM-A950、PM-D600、PM-D800、PM-G730、PX-A650、PX-V630、PX-G920)
- ・ Canon (PIXUS iP7500、PIXUS iP4300、PIXUS iP3300、PIXUS iP1700、PIXUS iP90)

各部の名前を知っておこう

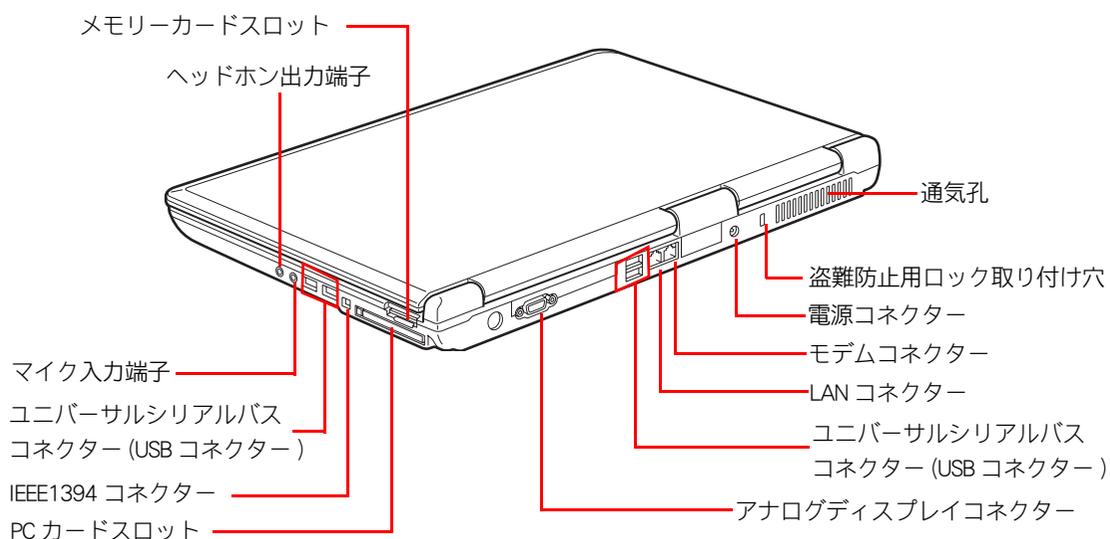
パソコン正面・左側面



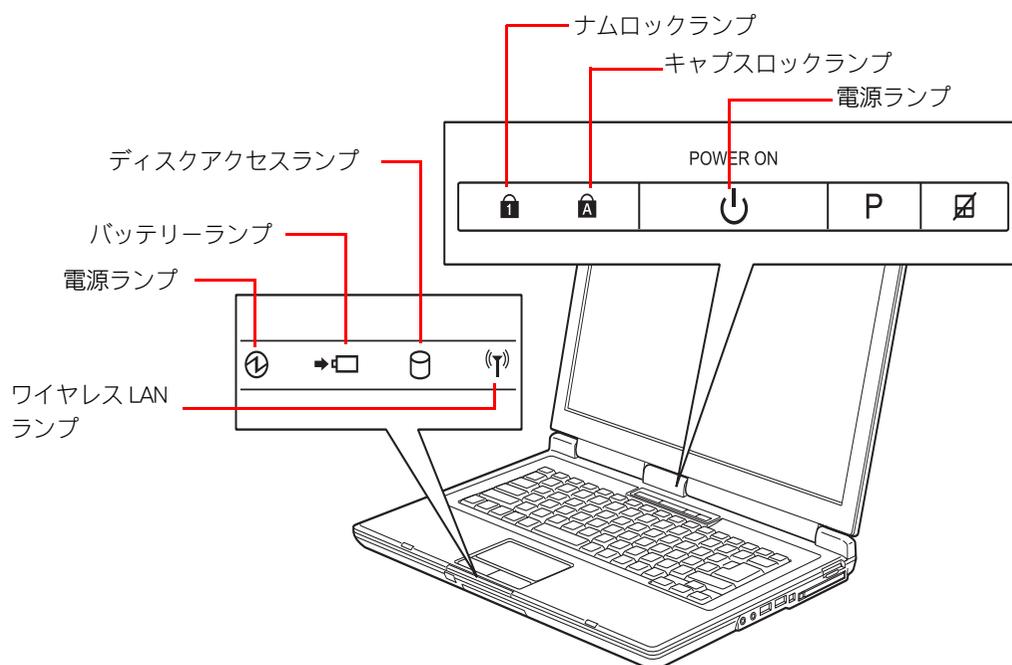
2

いろいろな使い方をするために

パソコン背面・右側面



インジケータランプの見方



電源ランプ

点灯：パソコン電源 ON 状態
点滅：スタンバイ状態
消灯：パソコン電源 OFF 状態／休止状態

バッテリーランプ

点灯：バッテリーパック充電中
点滅：バッテリーの残量が少ない状態
消灯：満充電状態

ワイヤレス LAN ランプ

点灯：ワイヤレス LAN が通信可能な状態

※ヒント ● ワイヤレス LAN 通信機能の ON/OFF は、[Fn]+[F2] キーを押すことで切り替えられます。

ディスクアクセスランプ

点滅：HDD、CD/DVD ドライブのデータ読み書き中

ナムロックランプ

[Fn] キーを押しながら [Ins] キーを押すと、切り替えられる
点灯：キーボードの青色の数字が入力できる

参照 → ナムロックについて→電子マニュアル『パソコン入門』1章の「キーを押してみよう」

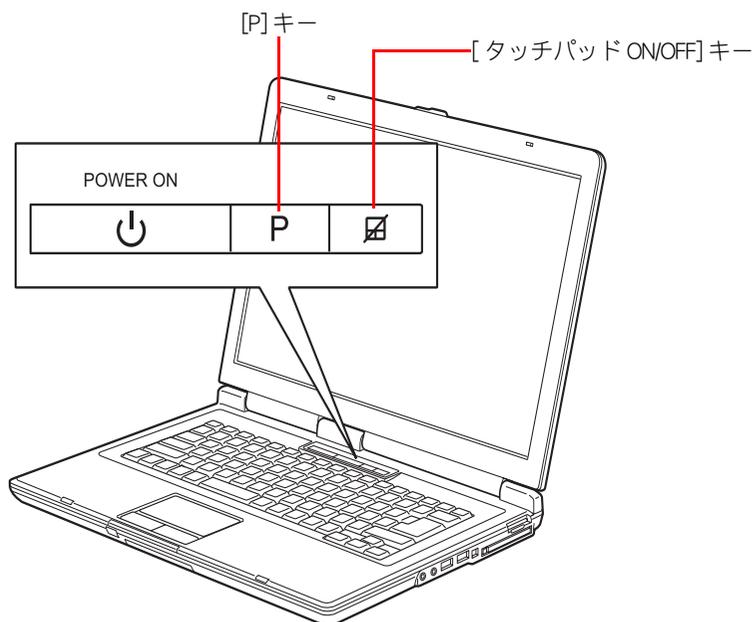
キャプスロックランプ

[Shift] キーを押しながら [Caps Lock] キーを押すと、切り替えられる
点灯：大文字のアルファベットが入力可能
消灯：小文字のアルファベットが入力可能

参照 → キャプスロックについて→電子マニュアル『パソコン入門』1章の「キーを押してみよう」

ワンタッチキーの機能

ボタンを押すだけでインターネットやメールができるキーです。



[P] キー

カラーエンハンス機能を ON/OFF して、画面の色合いを変更できます。

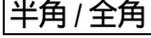
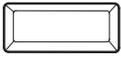
[タッチパッド ON/OFF] キー

マウスを使うときなどに、ポインティングパッドの機能を OFF にします。または、ポインティングパッドの機能を再び ON にします。

重要 ● 同時に複数のワンタッチキーを押すと、誤動作する場合があります。

※ヒント ● Windows 上のアプリケーションの操作を行うためには、アプリケーションにフォーカスがある（アクティブになる）必要があります。
● [P] キーで立ち上げるアプリケーションは変更できます。

参照 → [P] キーの変更方法 → 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「[P] キー（ワンタッチキー）を設定する」

キー	使い方
	[Shift] キーを押しながらこのキーを押すと、標準では英大文字の入力モードになります。
	テンキーで数字を入力するモードに切り替えます。[Fn] キーを押しながら [Ins] キーを押します。
	画面表示の制御に使います。[Fn] キーを押しながら [Delete] キーを押します。
	日本語入力で読みを漢字に変換します。
	日本語入力をオン/オフするときに使います。
	日本語入力の際に、無変換モードにします。
 (スペース)	1文字分のスペース（空白）を入力したり、読みを漢字に変換するときに使います。
	カーソルを行の先頭に移動するときに使います。
	カーソルを行の末尾に移動するときに使います。
 	ページをスクロールするときに使います。

※ヒント ● 、、、は、[Fn] キーを押しながら [←]、[→]、[↑]、[↓] キーを押します。

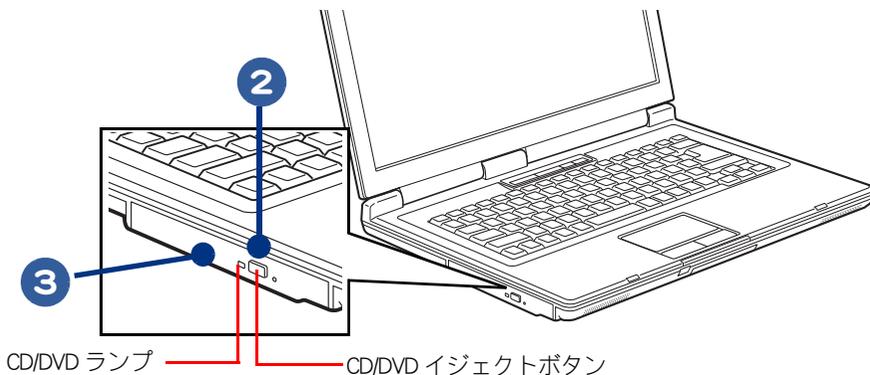
キー	使い方
	Windows キーといいます。スタートメニューを表示させるときに使います。
	プログラムキーといいます。ポインティングパッドまたはマウスを右クリックしたときと同じ働きをします。
	パソコンをスタンバイ状態にするときに使います。[Fn] キーを押しながら [F1] キーを押します。
	ワイヤレス LAN 通信機能の ON/OFF を切り替えるときに使います。[Fn] キーを押しながら [F2] キーを押します。
	液晶ディスプレイの明るさを暗くするときに使います。[Fn] キーを押しながら [F5] キーを押します。
	液晶ディスプレイの明るさを明るくするときに使います。[Fn] キーを押しながら [F6] キーを押します。
	バックライトの ON / OFF を切り替えるときに使います。[Fn] キーを押しながら [F7] キーを押します。キーを押すたびに ON / OFF が切り替わります。

キー	使い方
	表示先を切り替えるときに使います。[Fn] キーを押しながら [F8] キーを押します。キーを押すたびに、表示先 (パソコン、外付けディスプレイ) が切り替わります。
	音を消すときに使います。もう一度押すと元に戻ります。[Fn] キーを押しながら [F10] キーを押します。
	スピーカーの音量を下げるときに使います。[Fn] キーを押しながら [F11] キーを押します。
	スピーカーの音量を上げるときに使います。[Fn] キーを押しながら [F12] キーを押します。

参照 → キーボードの使い方について→電子マニュアル『パソコン入門』1章の「キーボードを使う」

CD/DVD ドライブのディスクの入れ方／取り出し方

- 1 CD/DVD ランプが消灯し、CD/DVD ドライブがアクセスしていないことを確認する
- 2 CD/DVD イジェクトボタンを押す
- 3 少しトレイが出てくるので手で引き出す

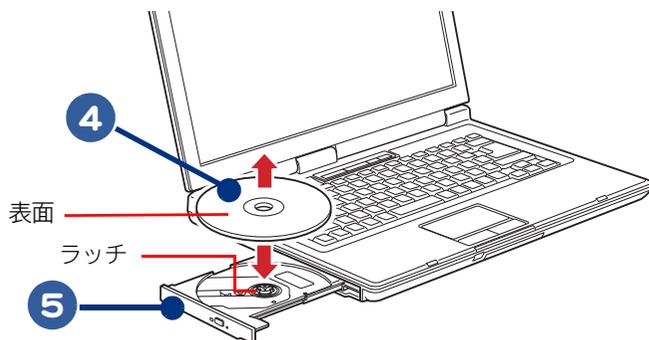


- 重要**
- CD、DVD へのアクセス中は、トレイを出さないでください。ドライブまたはディスクが壊れることがあります。
 - トレイを出し入れするときに、トレイを無理に引き出したり押し込んだりしないでください。ドライブが壊れることがあります。また、ディスクをセットしたり取り出すとき以外は、トレイを引き出さないでください。

参照 → 使用できるディスクの種類→「ドライブの仕様」(P.66)

- 4 ディスクの文字などが書かれている面(表面)を上に向け、カチッと音がするまでトレイに入れる (または取り出す)

5 「カチッ」とロックするまでトレイを押し閉める



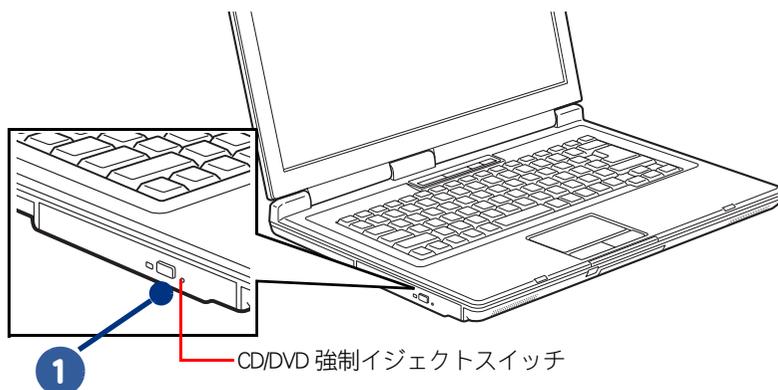
- 重要**
- 割れたり、変形したディスクは入れないでください。故障の原因になります。
 - ディスクのセンター穴をラッチにはめずにトレイを閉めると、ディスクがトレイ口に入って取れなくなることがあります。
 - 勢いよくトレイを押すと、ドライブの故障の原因になりますので、ゆっくりと押ししてください。

※ヒント ● ディスクに自動立ち上げのファイルがないときは、ディスクの再生が自動になりません。

ディスクの強制取り出し

CD/DVD イジェクトボタンを押してもトレイが開かないとき、細いピンなどを差し込んでドライブを開けることができます。

1 細いピンなどで CD/DVD 強制イジェクトスイッチを押す

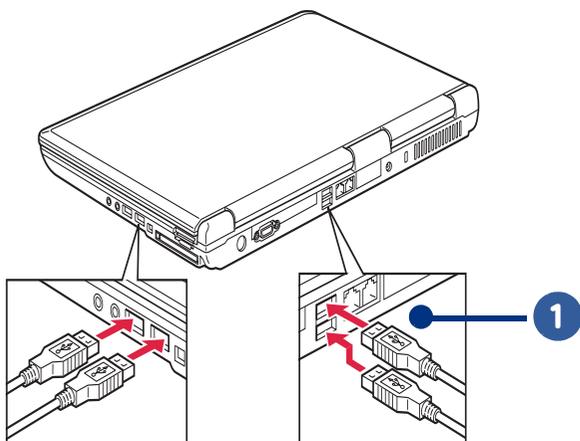


- 重要**
- 通常は CD/DVD 強制イジェクトスイッチは使わないでください。ただし、CD/DVD イジェクトボタンを押してもトレイが出ないときは、CD/DVD 強制イジェクトスイッチに細いピンなどを差し込んで取り出してください。

FD の入れ方／取り出し方

ここでは、外付けの USB FDD(オプション) の接続方法について説明します。

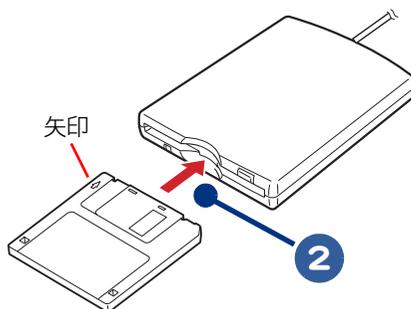
1 パソコン背面または、右側面の USB コネクタのどれかに、FDD の USB ケーブルを接続する



- 重要**
- コネクタには上下の向きがあります。コネクタの形を確認して取り付けてください。誤った向きで無理に押し込むと、コネクタ破損の原因となります。
 - FDD は上下を逆にしないでください。
 - FDD は AC アダプターから 30cm 以上、またパソコンからはなるべく離してご使用ください。
 - FDD を取り外すときは、FDD に FD が入っていないことをご確認ください。FD が壊れることがあります。

- ヒント**
- USB コネクタは、4 つあります。いずれに接続しても動作は同じです。

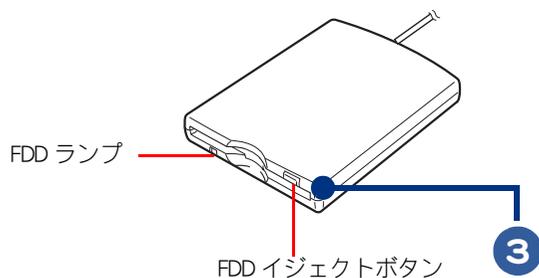
2 FD のラベルをはる面(表面)を上に向け、矢印を FDD に向け、「カチッ」と音がするまで押し込む



2

いろいろな使い方をするために

3 FDD ランプが点灯していないことを確認して、FDD イジェクトボタンを押す



重要

- FDD ランプの点灯、点滅中にFDを出し入れすると、FDDまたはFDが壊れることがあります。
- パソコンの電源を切るときは、FDを取り出してからにしてください。FDを入れたまま電源を切ると、FDが壊れることがあります。また、FDを入れたまま電源を入れると、パソコンが立ち上がらないことがあります。

参照

→ FDのフォーマット方法について→電子マニュアル『パソコン入門』3章の「フロッピーディスクをフォーマットしよう」

4 FDが出てくるので、FDDから取り出す



3

3章 再セットアップ

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻すまでの方法について説明します。パソコンの使用中にエラーが何回も発生したり、パソコンが立ち上がらないときは、再セットアップしてください。

» ・再セットアップについて (P.44)

再セットアップについて

作業の流れ

パソコンをご購入時の状態に戻すまでの作業の流れは次のとおりです。

1 準備する

再セットアップする前に必要なファイルのバックアップをとります。インターネットやメールなどの設定も控えておきます。

参照 → 詳細について→「1 準備する」(P.44)

2 一括インストールを行う

一部のアプリケーションを除いて、パソコンをご購入時の状態に戻します。

参照 → 詳細について→「2 一括インストールを行う」(P.47)

3 アプリケーションをインストールする

一括インストールで元に戻らないアプリケーションをインストールします。

参照 → 詳細について→「3 アプリケーションをインストールする」(P.53)

4 電子マニュアルをインストールする

一括インストールで元に戻らない電子マニュアルをインストールします。

参照 → 詳細について→「4 電子マニュアルをインストールする」(P.57)

1 準備する

次の準備を行ってください。

■ 必要なファイルをバックアップする

ご購入時の状態に戻すと、それまでに作成したファイルや、追加したアプリケーションなどが削除されます。CD-R や CD-RW などのディスクに必要なファイルをコピーしてバックアップをとってください。バックアップファイルに戻せるように元のフォルダー名など、保存先も控えてください。

- 参照** →
- ・ コピーの方法について→電子マニュアル『パソコン入門』3章の「ファイルをコピーしよう」
 - ・ バックアップの方法について→電子マニュアル『パソコン応用』6章の「データのバックアップ」
 - ・ データの保存先について→電子マニュアル『使おう！アプリケーション』6章の「標準のユーザーデータ保存場所」

インターネットの設定を控える

ご購入時の状態に戻したあと、加入しているプロバイダーに再び接続できるように、ユーザー名、パスワード、アカウント名など、インターネットの設定に必要な情報をメモしてください。通常は、契約時にプロバイダーから送付された書類にこれらの情報が記載されています。

USB などの周辺機器を取り外す

USB 機器などの周辺機器は、取り外してください。

PC カード、メモリーカードを取り外す

PC カード、メモリーカードは、取り外してください。

※ヒント ● PC カードやメモリーカードを取り付けているときは、取り付けたカードをパソコンから取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

参照 → PC カード、メモリーカードの取り外しについて→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「PC カードを使う」「メモリーカードを使う」

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定を変更している場合は、BIOS をご購入時の状態に戻してください。BIOS の設定をご購入時の状態に戻す（初期化する）ことで解決できる問題もあります。ご購入時の状態から設定を変更している場合は、設定内容をあらかじめ控えておき、BIOS を初期化したあとに設定し直してください。

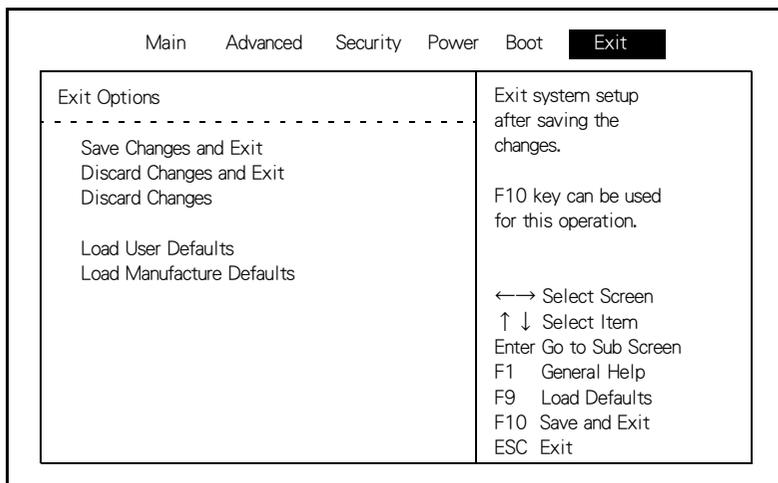
※ヒント ● BIOS の設定を初期化しても内蔵タイマーの日付と時刻は変更されません。

1 パソコンの電源を入れ、パソコンの立ち上げ中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[F2] キーを押す

BIOS メニューの [Main] 画面が表示される。

2 BIOS メニューの [Main] 画面で [→] キーを 5 回押す

[Exit] 画面が表示されます。



3 [Load User Defaults] を選び、[Enter] キーを押す

Load User Defaults?
[Ok] [Cancel]

4 [Ok] を選び、[Enter] キーを押す

BIOS メニューの [Exit] 画面に戻ります。

5 [Save Changes and Exit] を選び、[Enter] キーを押す

設定内容を保存する確認のメッセージが表示されます。

6 [Ok] を選び、[Enter] キーを押す

設定した内容が保存され、セットアップメニューが終了し、パソコンが立ち上げ直されます。

■ 必要なディスクを用意する

パソコンに付属の、次のディスク類を使用します。

- ・『再セットアップディスク (Disc1)』
- ・『アプリケーションディスク (Disc1)』
- ・『アプリケーションディスク (Disc2)』
- ・『Microsoft® Office Personal Edition 2003』
- ・『Microsoft® Office Home Style+』
- ・『Prius Navistation ディスク』
- ・『活用百科』

2 一括インストールを行う

この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いてパソコンのHDDをご購入時に近い状態に戻します。さらに、ドライブCのサイズを変更したり、ドライブCのみ購入時の状態に戻すこともできます。

あらかじめ、パソコンに付属されている次のディスクを用意してください。

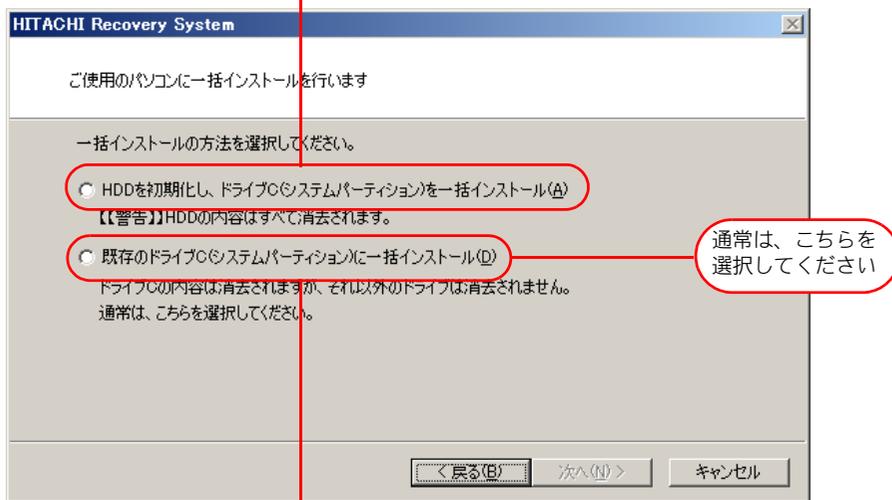
- ・『再セットアップディスク (Disc1)』

一括インストールには、次の方法があります。

選択肢	消去されるデータ	使用するディスク
(1) [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]	HDD すべての内容	・『再セットアップディスク (Disc1)』
(2) [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]	現在のドライブCの内容	・『再セットアップディスク (Disc1)』

※ヒント ● [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]を選択した場合、HDDの領域すべてを消去して、ご購入時の状態に戻します。[既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]を選択した場合、ドライブCのみご購入時の状態に戻します。ほかの領域は変更ありません。

(1) : [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]



(2) : [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]

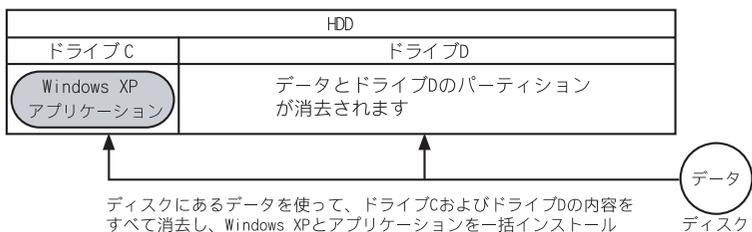
重要 ● 通常は、(2) : [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]を選択してください。
(1) : [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]を選択した場合は、すべてのHDD領域が消去されます。
パーティションの設定は、ある程度パソコンについての知識が必要です。初心者やHDDの知識をあまりお持ちでない方にはお勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。

■ 一括インストールのイメージ

次のイラストは、一括インストールの説明のためにイメージ化したものです。

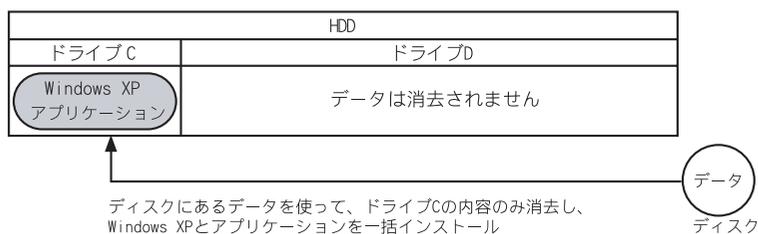
★メニュー画面で(1): [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]を選択した場合

HDD すべての内容が消去され、Windows XP とアプリケーションのインストール



★メニュー画面で(2): [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]を選択した場合

現在のドライブCの内容が消去され、Windows XP とアプリケーションのインストール



参照 → パーティション設定について→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「パーティションの設定」

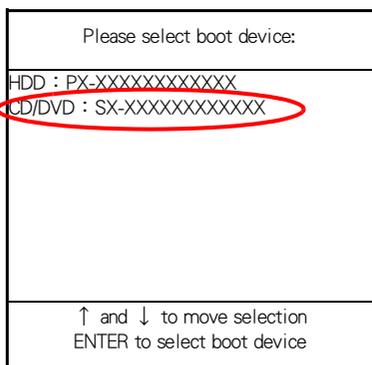
■ 一括インストール手順

1 パソコンの電源を入れ、パソコンの立ち上げ中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[ESC] キーを押す

[Boot Menu] 画面が表示される。

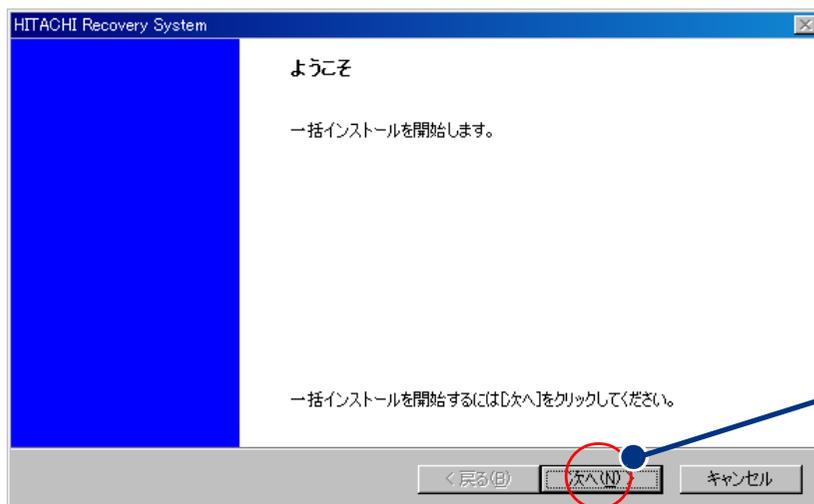
重要 ● [Boot Menu] 画面が表示されず Windows が立ち上がってしまった場合は、一度パソコンの電源を切り、パソコンの電源を入れ直してください。

2 CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク (Disc1)』を入れ、カーソルを [CD/DVD : SX-XXXXXXXXXXXX] に合わせ [Enter] キーを押す



[ようこそ] 画面が表示されます。

3 [次へ] ボタンをクリック



[ご使用のパソコンに一括インストールを行います] 画面が表示されます。

※ ヒント ● 一括インストールを中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。インストール中止の [確認] 画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックしてください。自動でパソコンが立ち上げ直されます。

4 セットアップ方法を選択し、[次へ]ボタンをクリック。

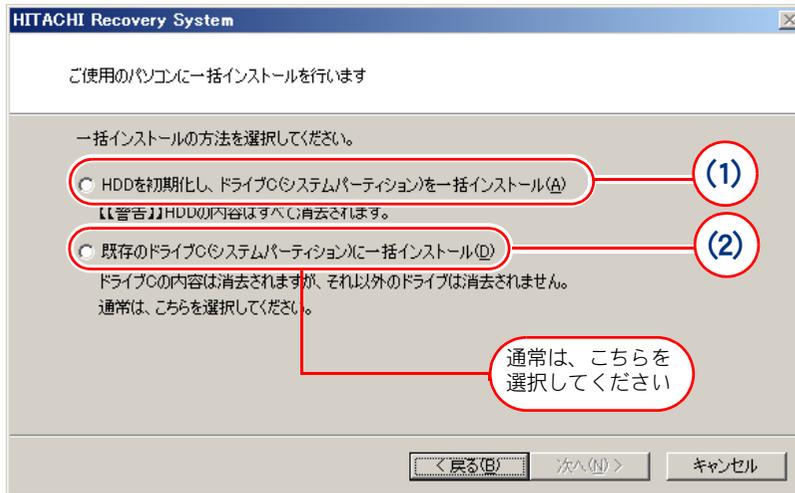
セットアップ方法は、次の2つから選択。

(1) : [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]

→(1)を選んだ場合は、手順7に進む

(2) : [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]

→通常はこちらを選択。(2)を選んだ場合は、次の手順5に進む

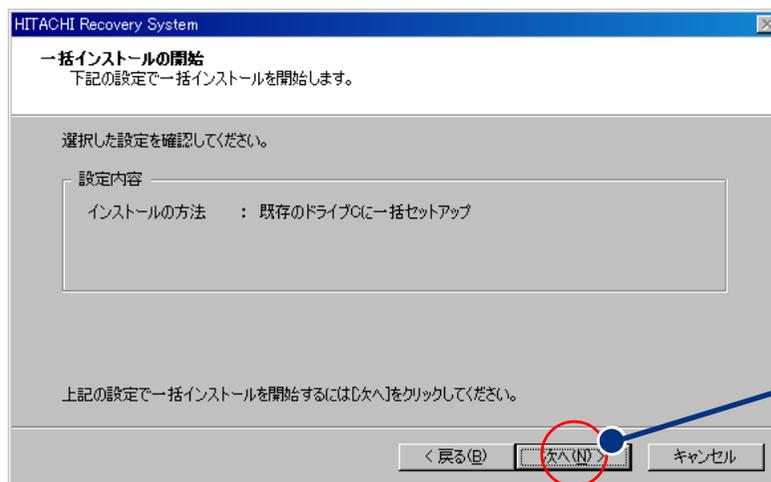


* (1)を選ぶと、OSやアプリケーションなどをドライブCに回復する。ドライブC以外のパーティションも初期化される。

* (2)を選ぶと、OSやアプリケーションをドライブCに回復する。ドライブC以外のパーティションは初期化されない。ドライブCのパーティションサイズは変更できない。

重要 ● 工場出荷時のドライブCは、20GBに設定されています。

5 [一括インストールの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリック。一括インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック



[確認]画面が表示されます。

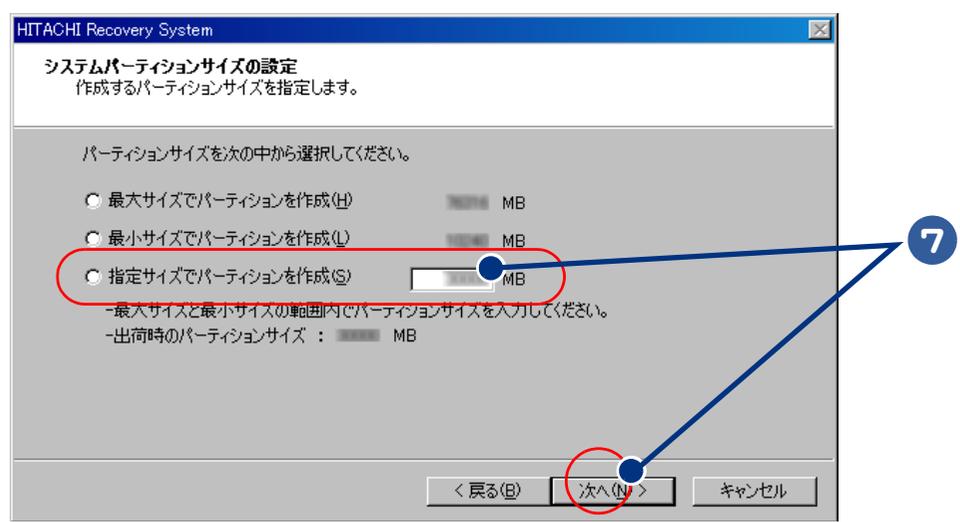


6 [はい] ボタンをクリックして、手順 10 へ進む。
[いいえ] ボタンをクリックすると、手順 5 へ戻る



- 重要**
- [はい] ボタンをクリックすると、Cドライブの内容はすべて消去されます。必要なデータなどがある場合は、インストールを中止して、先にバックアップを取ってください。
 - [はい] ボタンをクリックしたあとは、インストールを中止できません。

7 手順 4 で (1) を選んだ場合は、[システムパーティションサイズの設定] 画面が表示されるので、[指定サイズでパーティションを作成] を選択し、新規に作成するドライブ C のパーティションサイズを入力して、[次へ] ボタンをクリック



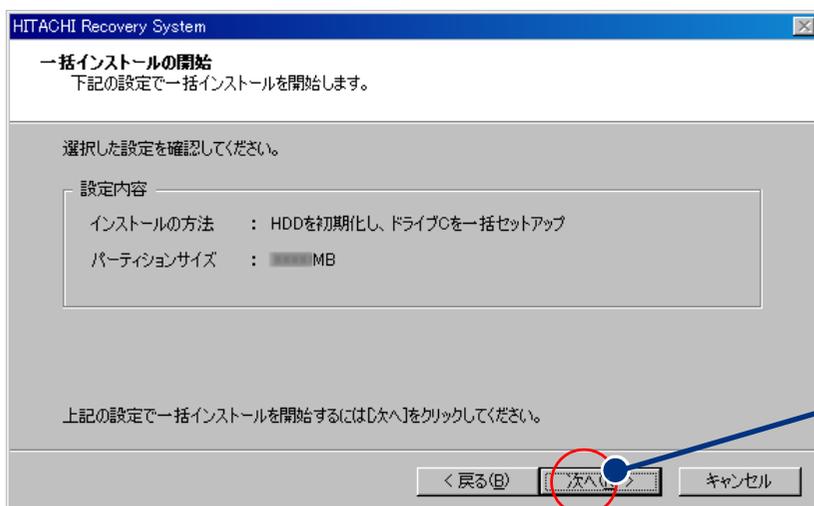
- * [最大サイズでパーティションを作成] を選ぶと、ハードディスクの最大サイズでドライブ C を作成します。
- * [最小サイズでパーティションを作成] を選ぶと、ハードディスクの最小サイズでドライブ C を作成します。

- 重要**
- 工場出荷時のドライブ C は、20GB に設定されています。
 - [指定サイズでパーティションを作成] を選び、任意のパーティションサイズを入力する場合、最大サイズを超えない値でかつ、最小サイズを下回らない値を入力してください。

参照 → パーティション設定について→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「パーティションの設定」

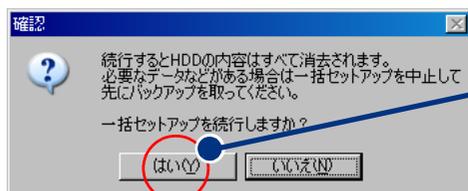
3 再セットアップ

- 8** [一括インストールの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリック。
一括インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック



[確認]画面が表示されます。

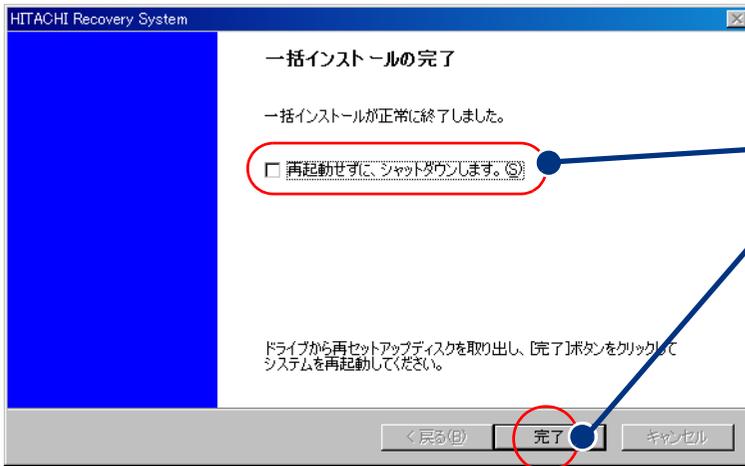
- 9** [はい]ボタンをクリックして、手順 10 へ進む。
[いいえ]ボタンをクリックすると、手順 8 へ戻る



- 重要**
- [はい]ボタンをクリックすると、HDDの内容はすべて消去されます。必要なデータなどがある場合は、インストールを中止して、先にバックアップを取ってください。
 - [はい]ボタンをクリックしたあとは、インストールを中止できません。

- 10** OSの回復作業が終了し、[一括インストールの完了]画面が表示されたら、パソコンから『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出す

11 [再起動せずに、シャットダウンします。]にチェックが入っていないことを確認し、[完了]ボタンをクリック



パソコンが立ち上げ直されます。

12 以降、Windows のセットアップ手順に従って、Windows 環境をセットアップする

参照 → セットアップ手順について → 「使用許諾契約に同意しよう」(P.17)

重要 ● 次項の「3 アプリケーションをインストールする」に進むには、Windows のセットアップが必要です。

3 アプリケーションをインストールする

一括インストールで、元に戻らないアプリケーションを Windows のセットアップ後にインストールします。添付ソフトウェアの CD-ROM、『アプリケーションディスク (Disc1)』、『活用百科』CD などを使います。

重要 ● アプリケーションをインストールするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）で行ってください。

添付ソフトウェアの CD-ROM からのインストール

詳細については、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。

★ Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack2)

付属の『スタートガイド』をご参照ください。

インストール時にセットアップオプションを選べます。必要に応じて選んでください。

添付の CD-ROM からインストールしたあと、HDD イメージからのインストールが必要です。

参照 → HDD イメージからのインストール → 電子マニュアル 『パソコン応用』4 章の「HDD イメージからのインストール」

重要 ● 添付の Microsoft® Office Personal Edition 2003 をインストールし直した場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、立ち上げ回数が許諾回数を超えると、ファイルの作成更新などの機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、『スタートガイド』をご参照ください。

★ Microsoft® Office Home Style+ (with Service Pack2)

付属の『スタートガイド』をご参照ください。

ご利用になるには、Microsoft® Office Personal Edition 2003 がインストールされている必要があります。添付の CD-ROM からインストールしたあと、HDD イメージからのインストールが必要です。

参照 → HDD イメージからのインストール → 電子マニュアル 『パソコン応用』 4 章の「HDD イメージからのインストール」

★ はじめてソフトを立ち上げた時の対応

次のアプリケーションをインストールしたあと、はじめて立ち上げたときは、番号などの入力が必要です。

アプリケーション名	番号の名称と記載場所
Microsoft® Office Personal Editon 2003	CD キー (25 桁) CD-ROM ケースの裏側 ライセンス認証

『Prius Navistation ディスク』からのインストール

次のアプリケーションは、『Prius Navistation ディスク』からインストールします。

★ Prius Navistation4

1 パソコンを立ち上げ、このパソコンに付属の『Prius Navistation ディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

3 e:\instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[アプリケーションインストールメニュー] が表示されます。

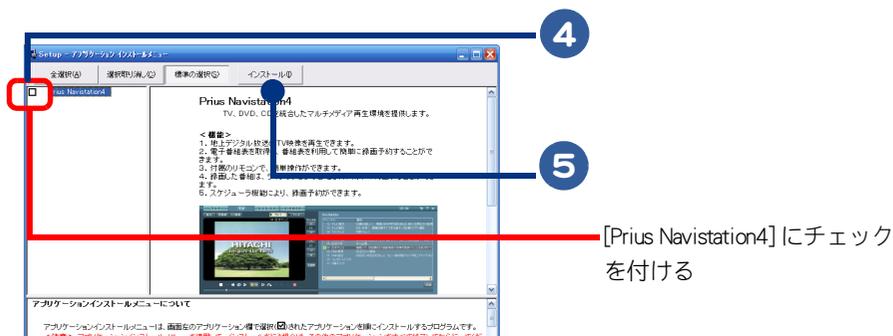
4 [Prius Navistation4] にチェックを付ける

重要 ● [スタート] メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

ヒント ● [アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付きます。[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。

5 [インストール] ボタンをクリック

インストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。[キャンセル] ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



6 [OK] ボタンをクリック

7 以降、画面の指示に従って、インストールする

インストールが終了すると、「インストールを終了しました」とメッセージが表示されます。

8 [OK] ボタンをクリックし、ディスクを CD/DVD ドライブから取り出す

9 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

重要 ● インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

『アプリケーションディスク (Disc1)』からのインストール

次のアプリケーションは、『アプリケーションディスク (Disc1)』からインストールします。詳細については、電子マニュアル『パソコン応用』をご参照ください。

- ★ DVD MovieWriter 5 for HITACHI
- ★ DVD-MovieAlbumSE 4
- ★ DVD-RAM ドライバー
- ★ Easy Media Creator 8.2
- ★ 読みワザ
- ★ マカフィー®・ウイルススキャン (90 日間サポート)、マカフィー®・パーソナルファイアウォールプラス (90 日間サポート)
- ★ 筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI
- ★ らくらく家計簿ゆとりちゃん 7
- ★ タイピングドリーム アフロ犬
- ★ ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE
- ★ 駅すばあと
- ★ AI 囲碁 スタンダード for HITACHI
- ★ AI 将棋 スタンダード for HITACHI
- ★ AI 麻雀 スタンダード for HITACHI
- ★ マウス吸着
- ★ 画面拡大

参照 → 『アプリケーションディスク (Disc1)』からのインストール→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「『アプリケーションディスク』からのインストール」

重要 ● 一括インストールを行い、マカフィー・ウイルススキャンをインストールした場合、マカフィー・ウイルススキャンでファイルの登録が必要です。ファイルの登録を行わないと、パソコンが正常に動作しません。

参照 → 登録方法について→電子マニュアル『プリウスナビを楽しもう!!』1章の「いろいろな操作はこの画面で」、[McAfee Personal Firewall Plus に関するご注意]

『アプリケーションディスク (Disc2)』からのインストール

次のアプリケーションは、『アプリケーションディスク (Disc2)』からインストールします。詳細については、電子マニュアル『パソコン応用』をご参照ください。

- ★ SD-VideoWriter
- ★ プリウスナビ ネットワークアドオンパック 2
- ★ DiXiM® Media Server

参照 → 『アプリケーションディスク (Disc2)』からのインストール→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「『アプリケーションディスク』からのインストール」

重要 ● テレビ機能付きモデルをご購入の方のみ、『アプリケーションディスク (Disc2)』からのインストールを行ってください。
● プリウスナビ ネットワークアドオンパック 2 は、Prius Navistation4 をインストールしたあとにインストールしてください。

『活用百科』 CDからのインストール

次のアプリケーションは、『活用百科』 CD からインストールします。詳細については、電子マニュアル『パソコン応用』をご参照ください。

★オンラインサインアップソフト

参照 → 『活用百科』 CDからのインストール→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」、「オンラインサインアップソフト」

4 電子マニュアルをインストールする

一括インストールでは、電子マニュアルはインストールされません。電子マニュアルは、『活用百科』 CD を使ってインストールします。

1 CD/DVD ドライブに『活用百科』 CD を入れる

Windows の実行する動作選択画面が表示されたときは、[何もしない] をクリックし、[OK] ボタンをクリックする。

2 『活用百科』 CD 中の [Elemenu] アイコンをダブルクリック

[電子マニュアルインストール Ver XXX] 画面が表示される。

3 [OK] ボタンをクリック

電子マニュアルがインストールされる。

4 「電子マニュアルのインストールが終了しました。引き続き CyberSupport をセットアップします。」とメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリック



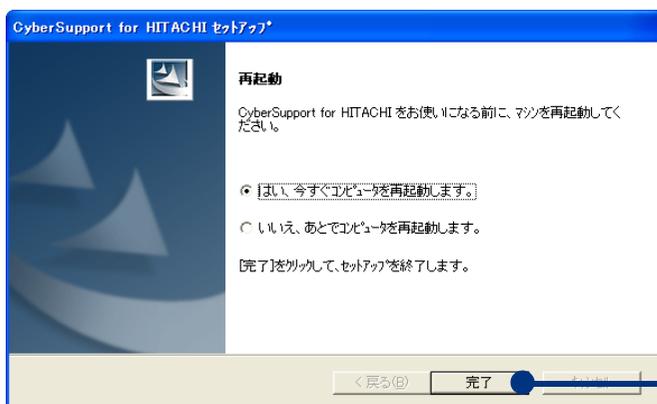
5 「CyberSupport for HITACHI のセットアップを開始します。よろしいですか?」とメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリック

CyberSupport がインストールされ、データベースが作成される。



6 次のメッセージが表示されたら、[完了] ボタンをクリック

パソコンが立ち上げ直される。



- ※ ヒント** ● 「CyberSupport」についてのご質問は、「安心コールセンター」までお問い合わせください。株式会社ジャストシステムでは、お問い合わせを直接受け付けていません。

4

4章 技術情報

この章では、アプリケーション一覧とパソコンのシステム構成および仕様について説明します。

- »・アプリケーション一覧 (P.60)
- »・パソコン仕様一覧 (P.63)
- »・ドライブの仕様 (P.66)
- »・メモリーボードの仕様 (P.68)
- »・有寿命部品一覧 (P.70)
- »・オプション情報 (P.71)

アプリケーション一覧

アプリケーションは、HDD イメージや『再セットアップディスク (Disc1)』、『アプリケーションディスク (Disc1)』、各ソフトウェアに付属の CD などを使ってインストールします。インストールで特別な制限や設定が必要なアプリケーションは、次の表の「設定」に○印があります。内容は、電子マニュアル『パソコン応用』4章の「各アプリケーションの制限や設定」をご参照ください。

重要 ● アプリケーションをインストールするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）でインストールしてください。

※ ヒント ● 表の「購入時の有無」に○印のあるアプリケーションは、購入時にインストールされています。
● 表の「一括インストール時の有無」に○印があるアプリケーションは、『再セットアップディスク (Disc1)』の「一括セットアップ」でインストールできます。モデルによっては○印がない場合があります。
● 表の「インストールプログラム」は、各アプリケーションを個別にインストールする場合のプログラム収録ディスクを表します。

アプリケーション一覧	購入時の有無	一括インストール時の有無	インストール時の注意事項の有無	インストールプログラム
	○：有り ×：無し	○：有り ×：無し	○：有り －：無し	HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップディスク (Disc1)、またはアプリケーションディスク (Disc1) CD：付属の CD
Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack2)	○	×	○	CD(Office Personal 2003)、HDD
Microsoft® Office Home Style+ (with Service Pack2)	○	×	○	CD(Office Home Style+)、HDD
DVD MovieWriter 5 for HITACHI	○	×	○	DVD(アプリケーションディスク (Disc1))
DVD-MovieAlbumSE 4	○	×	－	
DVD-RAM ドライバー	○	×	○	
Easy Media Creator 8.2	○	×	○	
読みワザ	○	×	－	
ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE	○	×	○	
マカフィー®・ウイルススキャン (90 日間サポート) マカフィー®・パーソナルファイアウォールプラス (90 日間サポート)	○	×	○	
i-フィルター 4(30 日間使用可能)	×	×	○	
Adobe Photoshop Album 2.0 Mini	○	○	－	
Prius かんたんシリーズ	Prius かんたんランチャー	○	○	○
	Prius かんたんファイルメール	○	○	○
	Prius かんたん PC 設定	○	○	○
	Prius かんたんファイルサーチ	○	○	○

アプリケーション一覧		購入時の有無	一括インストール時の有無	インストール時の注意事項の有無	インストールプログラム
		○：有り ×：無し	○：有り ×：無し	○：有り －：無し	HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップディスク (Disc1)、またはアプリケーションディスク (Disc1) CD：付属の CD
Prius ツール	Prius で楽しもう！	○	○	－	DVD(アプリケーションディスク (Disc1))
	Prius サウンド REC	○	○	－	
	Prius 四字熟語	○	○	－	
	Prius 一文字	○	○	－	
	Prius 筆算	○	○	－	
	Prius デカ文字ツール	○	○	－	
	自動ログオン設定プログラム	○	○	－	
筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI		○	×	○	CD(アプリケーションディスク (Disc2))
らくらく家計簿ゆとりちゃん7		○	×	○	
駅すばあと		○	×	○	
タイピングドリーム アフロ犬		○	×	○	
AI 囲碁 スタンダード for HITACHI		○	×	○	
AI 将棋 スタンダード for HITACHI		○	×	○	
AI 麻雀 スタンダード for HITACHI		○	×	○	
WYD		×	×	－	
マウス吸着		○	×	－	
画面拡大		○	×	－	
WinDVD5 for HITACHI		○	○	○	
わくわくナビ		○	○	－	
SD-VideoWriter *1		○	×	－	
プリウスナビ ネットワークアドオンパック2 *1		○	×	－	
DiXiM® Media Server *1		○	×	○	
DiXiM® Media Client *1		×	×	○	
Prius Navistation4	Prius Navistation4	○	×	－	
	メール着信設定 *2	○	×	－	
ネットワーク切替ユーティリティ		○	○	－	DVD(再セットアップディスク (Disc1))

アプリケーション一覧		購入時の有無	一括インストール時の有無	インストール時の注意事項の有無	インストールプログラム
		○：有り ×：無し	○：有り ×：無し	○：有り －：無し	HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップディスク (Disc1)、またはアプリケーションディスク (Disc1) CD：付属の CD
Adobe Reader		○	○	－	CD (活用百科)
CyberSupport for HITACHI		○	×	－	
プラグイン	Java(TM)2 Platform Standard Edition Runtime Environment Version 5.0	○	○	－	
	goo スティック	○	○	－	
	Macromedia® Shockwave®	○	○	－	
	Macromedia® Flash® Player	○	○	－	
MSN Messenger 7.5		○	○	○	
オンラインサインアップソフト	AOL	○	×	○	
	BIGLOBE	○	×	－	
	Yahoo! BB	○	×	－	
	OCN	○	×	－	
	ODN	○	×	－	
So-net		○	×	○	

* 1：テレビ機能付きモデルにのみ添付されています。

* 2：Prius Navistation4を選択すると同時にインストールされます。

パソコン仕様一覧

パソコンの仕様を紹介します。

製品名		Prius Note		
形名		PCF-PN39K1S	PCF-PN37K1S	PCF-PN33K1S
インストール OS 形式		Microsoft® Windows® XP Home Edition (With Service Pack2 セキュリティー強化機能対応)		
CPU	名称	インテル®Core™ 2 Duo プロセッサー T5500	インテル® Celeron® M プロセッサー 420	
	動作周波数	1.66GHz	1.60GHz	
フロントサイド・バス		667MHz	533MHz	
チップセット		インテル®945GM チップセット		
キャッシュ メモリー	1 次 (CPU 内蔵)	64KB (32KB 命令キャッシュ + 32KB データキャッシュ)		
	2 次 (CPU 内蔵)	2MB	1MB	
RAM	標準メモリー (ヒント 1)	1024MB (512MB × 2) (DDR2 SDRAM PC2-4200)	512MB (512MB × 1) (DDR2 SDRAM PC2-4200)	
	最大メモリー	1024MB		
	ビデオメモリー	最大 128MB(メインメモリーと共有)		
HDD(ヒント 2)		約 120GB		
CD/DVD 対応ドライブ		DVD スーパーマルチドライブ (DVD ± R 2 層書き込み対応)		
カレンダー時計 (重要 1)		年月日、時分秒を刻時、刻時誤差 ± 180 秒 / 月		
スピーカー		ステレオ (2 個) + サブウーハー (1 個)		
ディスプレイ		15.4 型ワイドアドバンスドスーパーピュアカラー液晶ディスプレイ		
グラフィック (ヒント 3)	800 × 600 ドット時	65536 色 / 1677 万色		
	1024 × 768 ドット時	65536 色 / 1677 万色		
	1280 × 800 ドット時	65536 色 / 1677 万色		
バックライト		冷陰極蛍光灯 2 灯		
キーボード		JIS 標準配列準拠 87 キー		
ポインティングパッド		静電式ポインティングパッド		
コネクター	アナログ ディスプレイ マイク入力	1 個 VESA/DDC1/2B 準拠 (ミニ D-sub15 ピン)		
	ヘッドホン出力	1 個 ステレオミニジャック 入力インピーダンス 10kΩ (Typ.)		
	IEEE1394	1 個 4 ピン S400		
	USB2.0	4 個		
	モデム (重要 2)	1 個 DATA : 56kbps(V.90)/FAX : 14.4kbps		
LAN		1 個 IEEE 802.3 100BASE-TX/10BASE-T		
PC カードスロット		Type II × 1 JEIDA Ver.4.2 準拠、CardBus 対応		

製品名		Prius Note		
形名		PCF-PN39K1S	PCF-PN37K1S	PCF-PN33K1S
メモリーカードスロット (重要 3)		1 個		
ワイヤレス LAN (重要 4)		通信速度最大 54Mbps IEEE802.11a(J52/W52/W53)/b/g 準拠 (11a:34/36/38/40/42/44/46/48/52/56/60/64ch、 11b:1ch ~ 14ch、11g:1ch ~ 13ch)		
地上デジタルテレビチューナー		USB 外付けユニット 1 個		なし
リモコン		1 個		なし
電源	周波数	50/60Hz		
	入力電圧	AC100V ± 10%		
	電源プラグ	2 極差込型		
消費電力 (ヒント 4)	最大	81W	74W	
	定常	約 28W	約 31W	
	スタンバイ時	約 1.6W		
省エネ法に基づ く表示 (ヒント 5)	区分	I		
	エネルギー消費 効率 (目標年度 2007 年度)	0.00037	0.0021	
外形寸法 (ヒント 6)		365mm(W) × 265mm(D) × 32.8 ~ 35.3mm(H)		
質量 (ヒント 7)		約 2.85kg		
周囲温度 (重要 5)	動作時	5 ~ 35 °C		
	非動作時	- 10 ~ 43 °C		
	保存および輸送 時	- 10 ~ 60 °C		
周囲湿度 (重要 5)	動作時	20 ~ 80%Rh(結露しないこと)		
	非動作時	20 ~ 80%Rh(結露しないこと)		
	保存および輸送 時	20 ~ 80%Rh(結露しないこと)		
	最大湿球温度	25 °C		

- ※ヒント** 1 : [コントロールパネル]-[システム]アイコン-[システムのプロパティ]でメモリー容量を確認できます。この容量は、実装容量からビデオメモリー容量分を引いた値です。
参照 → メモリーボードの詳細について → 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた」
- 2 : 電源を切ると、HDDのヘッドは自動的に退避ゾーンに移動します。
HDDの容量は、1GB=10⁹バイトで計算した場合の数値を表しています。
- 3 : 65536色は中(16ビット)、1677万色は高(24ビット)・最高(32ビット)です。
液晶ディスプレイでは高(24ビット)・最高(32ビット)に設定した場合デザイン表示になります。
- 4 : パソコンを使用しないときは、電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。待機時の消費電力を低減できます。
- 5 : エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- 6 : 突起部を除いた値です。
- 7 : バッテリーパック装着時の質量です。

- ▲重要** 1 : 時刻誤差は、リアルタイムクロックの数値です。Windowsの時間とずれることがあります。
- 2 : 内蔵モデムの通信速度最大 56Kbps は、データ受信時の最大速度の理論値です。内蔵モデムは日本国内専用です。海外では使用できません。



- 3 : メモリースティック Duo およびメモリースティック RPO デュオ、miniSD を使うには市販のアダプターが必要です。
SD メモリーカード、メモリースティック、マルチメディアカード (MMC)、xD- ピクチャーカードの同時使用はできません。
SD メモリーカードの著作権保護機能には対応していません。
メモリースティックのマジックゲートには対応していません。
マジックゲートは、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。
本機器では、2GB までのメモリースティックで動作確認を行っています。ただし、すべてのメモリースティックでの動作を保障するものではありません。
- 4 : 内蔵ワイヤレス LAN は、日本の電波法に基づき設計されています。海外で使用すると、罰せられる場合があります。
IEEE802.11a の規格による通信は、電波法により屋外での使用が禁じられています。(屋内のみ使用可能です。)
内蔵ワイヤレス LAN のアドホック通信接続は、サポートしていません。
最大速度 54Mbps は、IEEE802.11a/g 規格の理論値です。実際の通信速度とは異なります。
本製品に搭載している内蔵ワイヤレス LAN の IEEE802.11a は、2005 年 5 月の省令改正後の仕様 (J52/W52/W53) に準拠しています。対応チャンネルは 34、36、38、40、42、44、46、48、52、56、60、64ch です。表示ロゴは、次のようになります。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53

他機種のパソコン内蔵ワイヤレス LAN との Peer-to-Peer 接続はできません。

- 5 : 長時間の非動作時から動作させる場合は、周囲の温度や湿度になじむまで時間を置いてからパソコンを立ち上げてください。

※ ヒント ● K(大文字)とk(小文字)の記載の単位は、K(大文字):1024、k(小文字):1000 で換算しています。

ドライブの仕様

DVD スーパーマルチドライブ (DVD ± R2 層書き込み対応) の仕様

項目	仕様
読み込み速度 *1	CD-ROM、CD-R、CD-RW：最大 24 倍速 DVD-ROM：最大 8 倍速 DVD-R/+R：最大 8 倍速 DVD-RW/+RW：最大 8 倍速 DVD-R DL、DVD+R DL：最大 4 倍速 DVD-RAM：最大 5 倍速
書き込み速度	CD-R：最大 24 倍速 CD-RW：最大 16 倍速 DVD-R/+R：最大 8 倍速 DVD-RW：最大 6 倍速 DVD+RW：最大 8 倍速 DVD-R DL：最大 4 倍速 DVD+R DL：最大 4 倍速 DVD-RAM：最大 5 倍速
インタフェース	ATAPI
データ転送速度 (I/F 上)	最大 33.3MB / sec
平均ランダムアクセスタイム	DVD-ROM：180msec CD-ROM：150msec
バッファメモリー	2MB
ローディング方式	トレイローディング
読み込み可能ディスク	CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-R/RW、DVD-RAM、DVD+R/RW、DVD-R DL(8.5GB)、DVD+R DL(8.5GB)
書き込み可能ディスク	CD-R/RW、DVD-R(4.7GB)、DVD-RW(Ver.1.2)、DVD-RAM(2.8GB / 4.7GB / 9.4GB)、DVD+R/RW、DVD-R DL(8.5GB)、DVD+R DL(8.5GB)
対応フォーマット	CD-DA(オーディオ CD)、CD-ROM(mode1、mode2)、CD-ROM XA(mode2 の Form1、Form2)、CD-R/RW、Photo CD(シングル / マルチセッション)、Video CD、CD Extra(CD+)、CD-TEXT、DVD-ROM、DVD-R(3.9GB / 4.7GB)、DVD-VIDEO、DVD-RW(Ver.1.2)、DVD-RAM(2.6GB / 4.7GB / 9.4GB)、DVD+R(4.7GB)、DVD-R DL(8.5GB)、DVD+R DL(8.5GB)、DVD+RW

項目	仕様
推奨ディスク	CD-R：太陽誘電製、三菱化学メディア製、リコー製、日立マクセル製 CD-RW：三菱化学メディア製、リコー製、日立マクセル製 DVD-R(4倍速)：三菱化学メディア製、松下電器製、太陽誘電製、TDK製、日立マクセル製 DVD-R(8倍速)：三菱化学メディア製、太陽誘電製、TDK製、日立マクセル製 DVD-R(16倍速)：三菱化学メディア製、太陽誘電製、TDK製、日立マクセル製 DVD-RW(2倍速)：三菱化学メディア製、ビクター製、日立マクセル製 DVD-RW(4倍速)：三菱化学メディア製、ビクター製、日立マクセル製 DVD-RW(6倍速)：三菱化学メディア製、ビクター製、日立マクセル製 DVD-RAM(3倍速)：松下電器製、日立マクセル製 DVD-RAM(5倍速)：松下電器製、日立マクセル製 DVD+R(4倍速)：三菱化学メディア製、リコー製、TDK製、日立マクセル製 DVD+R(8倍速)：三菱化学メディア製、リコー製、TDK製、日立マクセル製 DVD+R(16倍速)：三菱化学メディア製、リコー製、TDK製、日立マクセル製 DVD+RW(4倍速)：三菱化学メディア製、リコー製、TDK製、日立マクセル製 DVD+RW(8倍速)：三菱化学メディア製、リコー製、日立マクセル製 DVD-R DL(4倍速)：三菱化学メディア製 DVD-R DL(8倍速)：三菱化学メディア製 DVD+R DL(2.4倍速)：三菱化学メディア製、リコー製、日立マクセル製 DVD+R DL(8倍速)：三菱化学メディア製

* 1：ディスクの回転振動が大きい場合や高速での読み込みが困難な場合は、自動で回転速度を落とします。

- 重要**
- ディスクをドライブに入れてすぐのときに、“Not Ready”など、準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される場合があります。このときはしばらくお待ちください。
 - ディスクは、使用する条件によって正しく読み込めないことがあります。
 - 推奨ディスク以外のディスクを使用すると、正常に動作しないことがあります。
 - ディスク以外の異物を入れないでください。コイン、クリップなどの金属物や、コーヒーなどの異物が混入すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
 - DVD+R DLのディスクへデータを書き込み、DVD+R DL未対応のドライブで読み込むと、書き込みしたデータが読み込めないことがあります。
 - 本ドライブで記録したDVD±R DLのディスクは、他のドライブで読めないことがあります。
 - DVD-R DLは、追記書き込みはできません。

- ヒント**
- DVD-R DL、DVD+R DLとは、片面2層(8.5GB)のディスクです。

メモリーボードの仕様

項目	仕様
容量	512MB
パリティ	なし
DRAM タイプ	DDR2 SDRAM、PC2-4200
DIMM タイプ	SO-DIMM 200 ピン
電源電圧	1.8V

*** ヒント** ● メモリーボードの使用環境はパソコンと同じです。

バッテリーパックの仕様

項目	仕様
形名	PCF-AB8200
容量	4400mAh
出力電圧	11.1V
充放電回数	約 300 回
外形寸法	137mm(W) × 75mm(D) × 23.5mm(H)
質量	約 330g

有寿命部品一覧

パソコンの部品は、長期間使用しているうちに劣化、磨耗します。次の部品は、一定周期で交換の必要があります。ここで記載の寿命とは設計構造上の想定寿命であり、寿命を保証するものではありません。想定寿命を満たさない場合でも、無償修理期間を過ぎている場合の部品代は有償です。購入や交換については、お買い求め先にご連絡ください。なお、交換した部品は、パソコン購入時の部品と異なる場合があります。

品名	備考
HDD ユニット	* 1
DVD スーパーマルチドライブ	* 2
液晶ディスプレイ	* 1、3
キーボード	* 1
ファン	* 1
AC アダプター (形名: PCF-AP7800)	* 1、6
バッテリーパック (形名: PCF-AB8200)	* 4
リチウム電池	* 5
メインボード	* 1、6

- * 1: 事務室で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は約5年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- * 2: 事務室で1日に2時間、1カ月で25日間、データの読み書きを想定した場合、寿命は約5年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- * 3: 明るさが工場出荷時の約1/2に低下したときを寿命とします。
- * 4: 寿命は約300サイクルです。または、通常の事務環境で過放電せず定期的に完全放電した場合は、約1年以内です。過放電にしたり、負担のかかる使い方をすると、寿命は短くなります。
- * 5: 寿命は約5年です。
- * 6: 使用しているアルミ電解コンデンサーは寿命のある部品です。

オプション情報

パソコンに増設または接続できるオプションを次に示します。

分類	品名	形名	備考
アクセサリ	バッテリーパック	PCF-AB8200	
	AC アダプター	PCF-AP7800	AC アダプターと電源コードのセット
ファイル装置	フロッピーディスク装置	PCT-UF2231A	USB インタフェース、3.5 型、3 モード *
		PCT-UF2231B	

* : Windows XP では 2 モードでの利用となります。

 **重要** ● この一覧表以外のオプションについては、動作保証していません。



さくいん

A

AC アダプター 10

B

BIOS 45

C

CD/DVD ドライブ 33

D

DVD スーパーマルチドライブ (DVD ± R 2 層書き込み対応) の仕様 66

P

PC カード 45

あ

アナログディスプレイコネクタ 34

アプリケーション一覧 60

アプリケーションのインストール 53

い

一括インストール 47

インターネット 30

え

液晶ディスプレイ 33

お

オプション情報 71

か

かな入力 19

漢字変換 19

き

キーボード 33

機器銘板 10

キャプスロックランプ 35

く

クリックボタン 33

け

警告ラベル 5

こ

コンセント 12

さ

再セットアップ 44

サブウーハー 33

し

CD/DVD 強制イジェクトスイッチ 40

重要なお知らせ 4

使用許諾契約 17

て

ディスクアクセスランプ 35

ディスクの入れ方／取り出し方 39

ディスクの強制取り出し 40

テレビを見る 31

電源コード 10

電源コネクタ 34

電源スイッチ 33

電源ランプ 34, 35

電源を入れる 15

電源を切る 22

電子マニュアル 1, 57

な

ナムロックランプ 35

は

パソコン 10

パソコン仕様一覧 63

バックアップ 44

バッテリーパック 10, 29, 33

バッテリーパックの充電のしかた 27

バッテリーパックの仕様 69

バッテリーパックの取り付け方 27

バッテリーパックの取り外し方 28

バッテリーランプ 28, 34, 35

バッテリーロック 29

ほ

ポインティングパッド 33

保証書 4, 10

ま

マウス 26

マウスポインター 17

め

メモリーボードの仕様 68

も

モジュラーケーブル 30, 31

モジュラーコンセント 30

モデム 30

モデムコネクタ 31

ゆ

有寿命部品一覧 70

ユニバーサルシリアルバス コネクタ (USB コネクタ) 34

ら

ラッチ 15, 33

り

リモコン 14

リモコン受信部 33

ろ

ローマ字入力 19

わ

ワイヤレス LAN ランプ 35

ワンタッチキーの機能 36

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ メモリースティック、マジックゲートは、ソニー株式会社の商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

準備しよう！ Prius

初 版 2006 年 7 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社 日立製作所 ユビキタスシステム事業部

〒 244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
お問い合わせ先: 安心コールセンター 0120-885-596

© Hitachi,Ltd.2006.All rights reserved.



このマニュアルは、再生紙を使用しています。

PNRS710P0-1